

吉野支所庁舎外壁改修その他工事

図 面 リ ス ト					
図面番号	図 面 名 称	図面番号	図 面 名 称		
A-01	表紙・図面リスト	A-16	建具配置図（1階）	M-01	付近見取図・配置図・工事概要
A-02	外壁改修工事特記仕様書（1）	A-17	建具配置図（2階）	M-02	1階平面図
A-03	外壁改修工事特記仕様書（2）	A-18	建具表	M-03	2階平面図
A-04	付近見取図・配置図・工事概要	A-19	建具詳細図		
A-05	外部仕上表・内部仕上表	A-20	部分詳細図（1）	E-01	付近見取図・配置図・工事概要
A-06	1階平面図（改修前）	A-21	部分詳細図（2）	E-02	立面図（改修後）
A-07	1階平面図（改修後）	A-22	部分詳細図（3）	E-03	立面図（改修前）
A-08	2階平面図（改修前）	A-23	部分詳細図（4）		
A-09	2階平面図（改修後）				
A-10	屋根平面図（改修前）				
A-11	屋根平面図（改修後）				
A-12	立面図（改修前）				
A-13	立面図（改修後）				
A-14	矩計図（改修前）				
A-15	矩計図（改修後）				

工事名称	： 吉野支所庁舎外壁改修その他工事
工事場所	： 鹿児島市吉野町3256番地3
工 期	： 令和 9 年 1 月 22 日

特 記 仕 様 書 【 一 般 事 項 】	
○ 1	図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書」(令和7年版)並びに「公共建築改修工事標準仕様書」(建築工事編)(令和7年版)による。
○ 2	特記事項の適用は次のとおりとする。 1) 項目は○印の付いたものを適用する。 2) 特記事項は ○ 印の付いたものを適用する。 ○ 印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。 ○ 印と ◎ の付いた場合は、共に適用する。 3) 特記事項に記載の() 内表示番号は、建築工事標準仕様書の当該項目、当該図、又は当該表を示す。 4) 形状寸法の単位は、特記なきかぎりミリメートルとする。 5) 製造所名は、50音順とし、「株式会社」等の記載は省略する。また、() 内は製品名を示す。 6) 再生資材(再生切込砕石等)については、再資源化施設製造のものを使用し、粒度は規格によること。
○ 3	本工事は鹿児島市建設工事請負契約書に基づき、施工するものとする。
○ 4	前金払 及び 中間前金払 本工事は、前払金を契約金額の40%の範囲内で支払うことができる。また、既に40%の範囲内で前金払をした工事で、次の各号の要件を満たしている工事は契約金額の20%以内の中間前払金を支払うことができる。 1) 工期の2分の1を経過していること。 2) 工程表により工期の2分の1を経過するまでに実施すべきものとされている当該工事に係る作業が行われていること。 3) 既に行われた当該工事に係る作業に要する経費が契約金額の2分の1以上の額に相当するものであること。
○ 5	部分払 部分払については、鹿児島市契約規則による。
○ 6	部分払対象品目 工事の出来形部分並びに、工事現場に搬入した工事材料のうち、次の工事に含まれるものは部分払いの対象とする。ただし、監督員の検査に合格したものであって確認写真及び出来高等の確認ができるものに限る。 1 仮設工事 2 土工事 3 地業工事 4 鉄筋工事 5 コンクリート工事 6 鉄骨工事 7 コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事 8 防水工事 9 石工事 10 タイル工事 11 木工事 12 屋根及びびい工事 13 金属工事 14 左官工事 15 建具工事 16 カーテンウォール工事 17 塗装工事 18 内装工事 19 ユニット及びその他の工事 20 排水工事 21 舗装工事 22 植栽及び壁上緑化工事
○ 7	火災保険等 請負契約終結後速やかに、次の工事保険に加入し、証券又はこれに代わるもの(保険証券等)の写しを直ちに監督員に提出すること。保証期間は工期後満21日間(24時)までとする。 ○ 火災保険等(工事的目的物及び工事材料(支給材料を含む)等)に生じる損害を填補 ○ 請負業者賠償責任保険(工事の施工に伴い第三者に与えた損害を填補) ただし、火災保険または第三者への損害賠償責任保険が含まれる建設工事保険、組立保険等でも可とする。その場合、保険証券等により保険内容が確認できるものであること。
○ 8	契約不適合担保責任検査 契約不適合担保責任(鹿児島市建設工事請負契約書第41条)の確実な履行を図るため、受注者は、契約不適合責任期間の満了前に、受注者の負担で、契約不適合担保責任検査を実施すること。 受注者は、発注者から契約不適合担保責任検査実施の通知を受けた場合は、発注者の指定する方法により速やかに契約不適合担保責任検査の実施日及び報告書提出日を回答したうえで、契約不適合担保責任検査を実施し、その結果を報告すること。なお、履行の追完方法は発注者と協議のうえ、実施すること。
○ 9	施工体制台帳の提出等 1) 建設工事の一部を下請に付する場合は、施工体制台帳及び添付書類を作成し、工事現場に備え置くとともに、その写しを監督員に遅滞なく(遅くとも下請工事の着手前までに)提出すること。 また、施工体制台帳の記載事項又は添付書類に変更があったときは、その都度、当該変更があった年月日を付記して、変更に関する事項について、作成し提出すること。 2) 工事を施工するために、建設工事の一部又は以下の各号の業務を下請に付する場合は、施工体系図を作成し、工事の期間中、工事現場の工事関係者が見やすい場所及び公衆の見やすい場所に掲示するとともに、その写しを監督員に遅滞なく(遅くとも下請工事の着手前までに)提出すること。また、施工体系図の記載事項に変更があったときは、その都度、変更に関する事項について、作成し提出すること。 (1)伐採及び測量・調査等の工事現場で作業を行う業務 (2)土砂やコンクリート殻等の運搬のみを行う業務 (3)工事現場の整備(交通誘導を含む)を行う業務 (4)その他監督職員が記載を指示した業務等
○ 10	工事完成写真の仕様について 1) インク、用紙等は普通の使用条件のもとで、5年程度で顕著な劣化が生じないものとする。こと。 2) カラー写真(ネガフィルムタイプ)と電子媒体による写真の混合管理は行わないこと。 3) 完成検査若しくは、工事的目的物竣工完了後5年間写真管理に利用した電子媒体を保管すること。
○ 11	足場の設置について 足場の設置を必要とする場合は、「手すり先行工法等に関するガイドライン」(厚生労働省令和5年12月26日)によるものとする。なお、これにより難しい場合は、監督員と協議の上、決定することとする。
○ 12	環境基本計画 1) 本工事に伴う環境への影響を抑制するため、工事車両通行往復ルートの分別、交通整理員の配置、走行速度の制限、ルートの設定等の対策を講じる。こと。 2) 本工事に使用する建設機械については、原則として、国等による環境物品等の調達推進等に関する法律第10条第1項に基づく環境物品等調達方針に適合するものを使用すること。 3) 本工事に伴い提出する関係書類については、可能な限り、国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律第10条第1項に基づく環境物品等調達方針適合製品又はエコマーク製品、グリーンマーク製品などの環境ラベリング製品を使用すること。 4) 本工事に伴い提出する関係書類については、写真やメーカー提出の資料等、両面印刷では支障を生ずるものは除き、可能な限り、両面印刷とすること。 5) 工事に伴い発生する廃棄物については、缶・ビン、ペットボトル、プラスチック容器類を搬出しやすいような分別ボックスの設置スペース又は分別ヤードを設置するなどして、分別の徹底及びリサイクルに努めること。
○ 13	現場代理人の工事現場への常駐を要しない場合について 1) 現場代理人の工事現場への常駐を要しない場合 現場代理人は現場に常駐し、その運営、取締りを行うこととされているが、以下の要件を満たす場合には、工事請負契約第10条第3項の「工事現場における運営、取締り及び権限の行使に支障がない」として取り扱うこととする。ただし、いずれの場合にも連絡が常にとれる体制を確保する必要性、現場保全の義務(現場の巡回等)があるため、現場代理人を設置しておくことは必要である。 ① 契約締結後、現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間 ② 工事請負契約書第20条により工事が一時中止されている期間 ③ 橋梁、ポンプ、ゲート、エレベーター等の工場製作を含む工事であって、工場製作のみが行われている期間 ④ 前3号に掲げる期間のほか、受注者から工事完成の通知があり、完成検査、事務手続、後片付け等のみが残っているなど、工事現場において作業等が行われていない期間 2) 発注者への報告 上記1)の要件を満たす場合は、現場代理人の工事現場における常駐は不要とし、他の工事と業務することを可能とするが、「工事打合簿」等により、工事現場において作業等が行われていない期間を明確にしておくこと。
○ 14	現場代理人の兼任について 1) 現場代理人の兼任を認める工事 現場代理人は、請負契約の的確な履行を確保するため、工事現場の運営、取締りのほか、工事の施工及び契約関係事務に関する一切の事項(請負代金の変更、契約の解除等を除く。)を処理する受注者の代理人であるが、次の①から⑤の全てを満たし、工事現場における運営、取締り及び権限の行使に支障がないと発注者が認めた場合、工事現場の兼任 を認めるものとする。 なお、専任の主任(監理)技術者と現場代理人を兼務する場合において、専任の技術者配置の特例により他の現場と兼任が認められた工事については、②、④、⑤の要件を満たすものとし、兼任できる工事は2件までとする。 ① 兼任できる工事は3件までとし、それぞれの工事の請負金額が4、500万円 [※] 未満であること。ただし、設計変更により、工事の請負金額が4、500万円 [※] 以上となり、各々の工事における主任(監理)技術者と現場代理人が異なる場合においては、受発注者協議の上、兼任することが出来る。※建築一式工事は9、000万円 ② 発注者又は監督員と常に携帯電話等で連絡が取れること。 ③ 兼任する工事の相互の移動は、概ね1時間以内であること。 ④ 発注者又は監督員が求めた場合には、工事現場に速やかに向かう等の対応を行うこと。 ⑤ 兼任する現場代理人は、必ず担当工事現場のいずれかに常駐するとともに、1日1回以上、担当工事現場を巡回し、現場管理等に当たること。 2) 手続き 現場代理人の兼任を行う場合には、兼任(変更)申請書を提出し、発注者の承認を得たのち、必要に応じ、現場代理人等変更通知書により、発注者に通知すること。 なお、各々の工事において、発注者に現場代理人の兼任の承認を得ること。 3) 受注者に対する措置請求 安全管理の不徹底や現場体制の不備に起因する事故等が発生した場合、建設工事請負契約書第12条に基づき、受注者に対して、必要な措置を取るべきことを請求するものとする。
○ 15	本工事は公共工事であることを十分認識し、工事の施工に必要な官公署その他への手続きは、速やかに行うとともに、安全管理を含む諸管理に十分留意して作業を行うこと。
○ 16	本工事の施工に伴う災害及び公害の防止は、建築基準法、労働安全衛生法、騒音規制法、振動規制法、大気汚染防止法、道路交通法及び建築工事公衆災害防止対策要綱その他関係法令等に従い適切に処理すること。
○ 17	工事現場及びその周囲は危険防止に十分注意し工事を行い、現場周辺の公共物(特に側溝等)の維持管理及び地域住民、行人への危害防止に万全を期すること。事故が発生した場合には、受注者において補償又は復旧をするものとする。

○ 18	ダンプトラック等による過積載等の防止について 1) 工事用資機材等の積載超過のないようにすること。 2) 過積載を行っている資材納入業者から、資材を購入しないこと。 3) 資材等の過積載を防止するため、資材の購入等に当たっては、資材納入業者等の利益を不当に害することがないようにすること。 4) さし柵の装着又は物品積載装置の不正改造をしたダンプカーが、工事現場に出入りすることがないようにすること。 5) 「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」(以下「法」という。)の目的に鑑み、法第12条に規定する団体等の設立状況を踏まえ、同団体等への加入者の使用を促進すること。 6) 下請契約の相手方又は資材納入業者を選定するに当たっては、交通安全に関する配慮に欠けるもの又は業務に関しダンプトラック等によって悪質かつ重大な事故を発生させたものを排除すること。 7) 1から6のことにつき、下請契約における受注者を指導すること。				
○ 19	産業廃棄物収集運搬車に係る表示及び書面備え付けについて 産業廃棄物を収集又は運搬する際に、産業廃棄物運搬許可業者に委託せずに自己運搬する場合は、運搬車の車体の両側面に「産業廃棄物の収集又は運搬に供する運搬車である旨」及び「排出事業者名」を表示するとともに、その運搬車に「産業廃棄物の収集又は運搬の用に供する運搬車であることを証する書面」を備え付けること。 〔表示例〕 <table><tr><td>産業廃棄物収集運搬車</td><td>← 140ポイント(おおむね縦横50mm)以上の識別しやすい色の文字及び数字</td></tr><tr><td>○○株式会社</td><td>← 90ポイント(おおむね縦横30mm)以上の識別しやすい色の文字及び数字</td></tr></table> なお、産業廃棄物収集運搬許可業者に委託して収集又は運搬させる場合には、別途「廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則」に基づく、表示規定によること。	産業廃棄物収集運搬車	← 140ポイント(おおむね縦横50mm)以上の識別しやすい色の文字及び数字	○○株式会社	← 90ポイント(おおむね縦横30mm)以上の識別しやすい色の文字及び数字
産業廃棄物収集運搬車	← 140ポイント(おおむね縦横50mm)以上の識別しやすい色の文字及び数字				
○○株式会社	← 90ポイント(おおむね縦横30mm)以上の識別しやすい色の文字及び数字				
○ 20	工事現場への通行、諸運搬にあたっては、特に現場周辺の住民・通行人及び児童・生徒等への危害防止に万全を期すること。工事現場内での火気責任者を定め、火気の取扱いには十分注意すること。また、工事において支障物件がある場合は、監督員との協議により処理し、これに要する費用は発注者と協議を行うこと。				
○ 21	工事現場の快適な作業環境を確保するため、受注者事務所、従業員休憩所、便所等は関係法令に従い、適切な材料・構造などのものとする。こと。				
○ 22	本工事の施工に際しては、地場産業育成の立場から、できるだけ市内の専門業者や作業員を活用し、資材についても市内業者から購入し、使用するよう努めること。				
○ 23	本工事により発生する建設廃棄物のうち、焼却施設及び最終処分場に搬入する産業廃棄物には、産業廃棄物税が課税されるので適正に処理すること。				
○ 24	暴力団関係者等による不当要求又は工事妨害(以下「不当介入」という。)を受けた場合は、断固としてこれを拒否するとともに、その旨を遅滞なく発注者及び警察に通報すること。また、暴力団関係者等による不当介入を受けたことにより工程に遅れが生じた場合は、発注者と協議を行うこと。				
○ 25	工事現場の周辺住民に対しては、事前に十分な工事内容の説明(作業時間、工法、期間等)を行い協力を得られる様に努めるとともに、工事期間中は迷惑、紛争等のないように十分注意すること。(近隣住民から相談・苦情の申立て等があった場合には、受注者において誠意をもって速やかに対応すると共に、経過等を監督員へ報告すること。)				
○ 26	ヤンバルトサカヤスデのまん延を防止するため、当該現場での土壌や植物等の搬出入に当たっては、以下の項目を参考に、十分注意を払うとともに、ヤンバルトサカヤスデの棲息が確認された場合は、棲息状況等の調査報告書を監督員に提出し、まん延防止対策を講ずること。(※発生地については、鹿児島市ホームページで確認すること。) 1) 原則、土・樹木等は、発生地区からの搬出を極力おさえ、廃棄木材については、産業廃棄物の取扱いが可能な焼却施設にて、焼却処理を行うこと。 2) 工事区域周辺部への拡散防止のため、周辺部に薬物散布等の措置を行うこと。 3) やむを得ず、土・樹木等を発生地区から搬出する場合は、薬剤処理・薫蒸後、搬出を行うこと。 4) 発生地区に搬入した建設機材等は、付着土壌の除去並びに薬剤処理後、搬出を行うこと。 5) 未発生地区においても、発生地区からの土・樹木等の搬入や、建設機材の移動等があった場合は、1)～4)の措置が講じられているかを確認すること。				
○ 27	本工事の交通誘導員の編成人員は、見積閲覧書によるものとするが、交通管理者等との協議の結果、又は現場条件等により変更が生じた場合は別途協議する。また、受注者は工事着手前に、実施工程に対応した配置予定図と配置予定時間を施工計画書に記載しなければならない。				
○ 28	低入札価格調査に基づく措置 低入札価格調査基準価格未満の価格での受注者に対しては、次に掲げる措置を講じるものとする。 1) 施工体制の強化 ① 低入札価格調査の対象となった工事(以下「調査対象工事」という。))には、専任の主任技術者等を配置すること。 ② 調査対象工事を施工する場合において、契約日の属する年度及びその前年度に完成した工事に関し、次のいずれかに該当する場合は、配置すべき主任技術者又は監理技術者とは別に、同等の要件を満たす技術者を専任で1人配置すること。 ウ 65点未満の工事成績評定を通知された場合 イ 工事請負契約書に基づき修補又は損害賠償を請求された場合 ウ 品質管理・安全管理に関し、指名停止又は書面による警告・注意の喚起を受けた場合 エ 自らに起因して工期を大幅に遅らせた場合 2) 監督体制の強化 ① 受注者は、施工体制台帳を提出し、その内容についてのヒアリングを求められたときはこれに応じなければならない。 ② 受注者は、特記仕様書に基づく施工計画書を提出し、その内容についてのヒアリングを求められたときはこれに応じなければならない。				
○ 29	「快適トイレ」の試行について 1. 受注者は積極的に快適トイレの試行に取り組むこと。 2. 快適トイレを設置する場合は、建設現場における「快適トイレ」設置の試行の改定について(令和3年7月26日付鹿児島市建設局通知)」に基づき行うものとする。 なお、通知は鹿児島市ホームページから入手できる。				
○ 30	法定外労災保険の付保等について 本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。保証期間は工期後満21日間(24時)までとする。 なお、当該保険契約を締結したときは、その証券またはこれに代わるもの(保険証券等)の写しを直ちに監督員に提出すること。				
○ 31	墜落制止用器具の使用について 高さが2m以上の作業床がない箇所、または作業床の端・開口部等で囲い・手すり等の設置が困難な箇所における作業については、労働者の危険を防止する手段として、墜落制止用器具の使用を講じること。				
○ 32	営繕工事における週休2日工事について 実施に当たっては、鹿児島県「営繕工事における「週休2日」工事実施要領(令和7年8月1日施行) (以下、「実施要領」という。))」を準用するものとする。なお、実施要領は鹿児島県ホームページから入手できる。				
○ 33	電子納品 本工事は、電子納品対象工事とし、市HPに掲載する鹿児島市電子納品ガイドライン【建築・設備編】及び鹿児島市電子納品ガイドライン 運用の手引き【建築・設備編】に定める基準に基づいて作成した電子成果品を納品すること。 ただし、事前協議により電子化しない成果品については従来どおりの取扱とする。				
○ 34	情報共有システムを活用した工事の試行 本工事は、情報共有システム活用の試行対象工事である。試行にあたっては、鹿児島市営繕工事等における情報共有システム活用工事試行要領(令和8年4月1日)に基づき行うものとする。試行要領は、鹿児島市ホームページから入手できる。				
○ 35	架空線の防護措置における防護管設置については、受注者が架空線管理者と協議するものとし、防護管設置の必要があるとされた場合は、監督員と協議により設計変更の対象とする。				
○ 36	施工体制点検等への協力 請負代金額が4、500万円(建築一式工事は9、000万円)以上の工事においては、「鹿児島市施工体制点検要領」に基づく点検を、また請負代金額が4、500万円(建築一式工事は9、000万円)未満の建設工事の下請契約を締結した工事においては、同要領の枠組外における「一括下請負に関する確認」を実施するので、受注者はこれに協力すること。				
○ 37	産業廃棄物管理票(マニフェスト)の提出 工事の施工により発生する産業廃棄物については、処分状況等の記録(E票の写し及び産業廃棄物管理票(マニフェスト)総括表)を工事完成図書に添付すること。 なお、工事完了時点で最終処分が完了せず、E票が処分業者より返送されていない場合は、A票、B2票及びD票のうち直近に返送されたものの写しを添付すること。 ただし、この場合においても、最終処分が完了し、E票が処分業者より返送され次第、直ちに同票の写しを提出すること。電子マニフェストの場合は、受渡確認表の写しを添付すること。				
○ 38	監理技術者等の途中交代 監理技術者等の途中交代が認められる場合としては、主任技術者又は監理技術者の死亡、疾病、退職等、真にやむを得ない場合の他、下記に該当する場合である。 1) 受注者の真によらない理由により工事中止又は工事内容の大幅な変更が発生し、工期が延長された場合 2) 橋梁、ポンプ、ゲート等の工場製作を含む工事であって、工場から現地へ工事の現場が移行する時点 3) ダム、トンネル等大規模な工事で1つの契約工期が多年に及ぶ場合 上記の場合にあっても、受注者と発注者が協議し、工事の継続性、品質確保等に支障がないと認められる場合のみ途中交代が可能となる。				
○ 39	監理技術者等の途中交代の試行について 本工事は、工程上一定の区切りと認められる時点で、監理技術者又は主任技術者の途中交代を認める試行工事である。 1) 工程上一定の区切りと認められる時点とは、品質管理・出来形管理が必要な工事的目的物の施工が完了した時点とし、仮設備の撤去、後片付け及び検査等を行う期間は、監理技術者等の途中交代を認めることとする。 2) 受注者と発注者が協議し、工事の継続性、安全管理、工程等に支障がないと認められる場合のみ途中交代が可能となる。なお、総合評価落札方式の場合は、当該工事の入札契約手続きにおける競争参加資格を満たす者を配置しなければならない。				
○ 40	公共工事における現場一斉閉鎖の実施について 受注者は、公共工事における現場一斉閉鎖の実施に協力するものとする。なお、現場閉鎖の実施への協力は、受注者の判断によるもの(任意)とし、実施の有無等について発注者への報告は必要ないものとする。なお、県ホームページに本取組みに係るチラシを掲載しているので確認のこと。				
○ 41	道路占用許可申請及び道路使用許可申請について 申請については、受注者が道路管理者や警察署と協議するものとし、必要書類については、監督員と協議の上、作成すること。なお、道路占用料及び道路使用許可申請手数料については、監督員との協議により設計変更の対象とする。				
○ 42	建設キャリアアップシステム活用工事の試行 本工事は、建設キャリアアップシステム活用工事の対象である。試行に当たっては、鹿児島市建設キャリアアップシステム活用工事試行要領(令和8年4月1日)に基づき行うものとする。試行要領は、鹿児島市ホームページから入手できる。				

吉野支所庁舎外壁改修その他工事	
外壁改修工事特記仕様書(1)	
鹿児島市建設局建築部建築課	
Ver.R0401	

章適用

項目

特記事項

1.適用基準等

2.技能士

3.工事実績情報の登録

4.建築材料等

5.発生材の処理等

6.工事写真等

7.完成図等

2.監督員事務所

2.工事用水

3.工事用電力

3.防水工事

2.塗膜防水

3.シーリング

4.保証書及び期間

4.タイル工事

5.1と

外壁改修工事特記仕様書による。

※適用する・とび・左官・塗装(建築塗装作業)・樹脂接着材注入施工

受注者は、受注時又は変更時において工事請負代金額が500万円以上の工事について、実績情報サービス(コリンズ)に基づき、受注・変更・完成・訂正時に工事実績情報として「通知書」を作成し監督員の確認を受けたうえ、受注時は契約後10日以内に、登録内容の変更時は変更があった日から10日以内に、(一財)日本建設情報総合センターに登録しなければならない。
なお、変更時と完成時の間が10日間に満たない場合は、変更時の登録申請を省略できる。
(ただし、期間には、行政機関の休日に関する法律(昭和63年法律第91号)に定める行政機関の休日は含まない)

本工事に使用する建築材料等のうち、特定のものが特記された場合は、設計図書に規定するもの又はこれらと同等のものとする。
ただし、同等のものとする場合は、監督員の承諾を受ける。なお、「評価名簿による」と特記されたものについては、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築材料・設備機材等品質性能評価事業建築材料等評価名簿(最新版)」による。また、評価を受けたも使用する場合は、評価書の写しを監督員に提出し、その確認をもって、品質・性能の確認があったものとして行うことができる。

※建設副産物の処理
1)本工事より発生する建設副産物については、再生資源の活用を行うことを原則とし、「廃棄物処理法」、「資源の有効な利用の促進に関する法律」(リサイクル法)、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」(建設リサイクル法)、「建設工事公衆災害防止対策要綱」及び「建設副産物適正処理推進要綱」を遵守するとともに、マニフェストシステムにより適正処理を行うこと。
2)建設発生土及び建設廃棄物にあたっては、建設副産物適正処理推進要綱や関係法令を遵守すること。
3)建設発生土及び建設廃棄物処理に起因する災害及び苦情については、受注者の責任において処理すること。
4)建設廃材処分場は、不燃物は最寄りの処分場、可燃物は最寄りの焼却施設とする。
5)建設廃棄物のうち、再生資材として有効利用できるコンクリート・アスファルト塊、金属くず、木くず等については、最寄りの再資源化施設(許可を受けた施設)へ搬出すること。
6)マニフェスト(管理票)の備考欄にせっこうボードの有無を明記するとともに、せっこうボードが含まれている場合は製造会社名等を明記すること。

下記のことを監督員に提出する。ただし、原版は撮影業者の保管とする。

区分	分類	規格	撮影枚数	部数	原画の大きさ	備考
※着工前	※カラー・	※L版程度・		※1部・	24×36以上	
※工事中	※カラー・	※L版程度・		※1部・	24×36以上	
※完成時	※カラー・	※L版程度・キャビネ版	枚	※1部・	・60×90以上 ・24×36以上	外観4面 主要内部
・実態調査用	※カラー・	※L版程度・	枚	2部	24×36以上	外観4面

保全に関する資料を1部監督員に提出すること。(監督員の指定する様式に基づく保全計画書等)

・設ける(規模・1号・2号・3号・4号・5号)⊙設けない
・仮設便所・工事用電話・設置する備品等の種類及び数量(監督員の指示による)

構内既存の施設※利用できない⊙利用できる(⊙有償・無償)
構内既存の給水設備を利用する場合は、水道局へ臨時給水の申請を行い、水道メーターを設置すること。

構内既存の施設⊙利用できない・利用できる(※有償・無償)

工程種別	適用箇所	仕上げ塗料塗り	厚さ
・S-F2	立上り部		※1.5mm
・S-M2	平場部		※1.5mm
使用材料	ルーフィングシート	JIS A 6008(合成高分子系ルーフィングシート)遮熱仕様(平場のみ)	
	絶縁用シート	発泡ポリエチレンシート	
	その他の材料	プライマー、増張り用シート、成形役物、接着剤、シール材等は、製造所の指定する製品とする。	

ウレタン系塗膜防水

工程種別	施工箇所
・X-1(絶縁工法)	平場部
・X-2(密着工法)	立上り・設備架台

下表以外は、表3. 7. 1による

既存建具廻り・アルミ押え金物	変成シリコン系(MS-2)	ノーワーキング

防水工事の施工については、10年保証書を提出すること。
なお、保証書は、受注者と施工業者の連帯とする(シーリングを除く)。
保証書の必要な防水工事の施工業者は建設業法の許可業者とする。

タイルの種類

施工箇所	形状・寸法	きじ			うわぐすり		役物		色	
		磁器	せつ器	陶器	無ゆう	施ゆう	有	無	標準	特注
		・	・	・	・	・	・	・	・	・
		・	・	・	・	・	・	・	・	・

製造所(監督員の承諾を得るものとする。)

材種	径	施工箇所	備考
硬質塩化ビニル管	100φ	縦どい	カラー
・外部どい受け金物・銅製(亜鉛めっき)※ステンレス製			

章適用

項目

特記事項

1.モルタル塗り

2.仕上塗材仕上げ

7.塗装工事

8.外壁仕上塗材除去工事

6.除去作業

材料防水モルタルの防水剤製造所(監督員の承諾を得るものとする。)
・既製目地材形状(・)・床目地設置工法(・押し目地・)

JIS A 6909(建築用仕上塗材)

種類	呼び名	仕上げ形状等
・薄付け仕上塗材	・外装薄塗材E	・砂壁状・着色骨材砂壁状
	・内装薄塗材E	砂壁状じゅらく
	・可とう形外装薄塗材E	・砂壁状・ゆず肌状・さざ波状
	・防水形外装薄塗材E	・ゆず肌状・さざ波状・凹凸状
	・外装薄塗材S	砂壁状
・内装薄塗材W	京壁状じゅらく	
・軽量骨材仕上塗材	・吹付用軽量塗材	砂壁状
	・こて塗用軽量塗材	平たん状
・可とう形改修用仕上塗材	・可とう形改修塗材E	・凹凸状・さざ波状・平坦状
	・可とう形改修塗材RE	耐候性上塗材※耐候形2種 溶媒※水系・溶剤系 樹脂※ウレタン系・シリコン系 外観※つやあり
	・可とう形改修塗材CE	
・厚付け仕上塗材	・外装厚塗材C	吹付け・吹放し・凸部処理
	・内装厚塗材C	こて塗り・ひき起し・凸部処理
・外装厚塗材E	・吹放し・凸部処理	
・複層仕上塗材	・複層塗材CE	※ゆず肌状・凸部処理・凹凸模様
	・可とう形複層塗材CE	耐候性上塗材※耐候形3種
	・複層塗材Si	溶媒※水系・溶剤系
	・複層塗材E	樹脂※アクリル系
	・複層塗材RE	外観※つやあり・つやなし ・メタリック
・防水形複層塗材E		

・樹脂モルタル薄塗り外部幅木
⊙高圧洗浄15MPa

耐候性塗料塗(DP)
※鉄部エポキシ樹脂プライマー2回塗ホリウレタン樹脂2回塗
※樋エポキシ樹脂プライマー1回塗ホリウレタン樹脂2回塗

既存仕上塗材における石綿含有の有無
・未調査(以下の既存仕上塗材について石綿含有の分析調査を行い、監督員に結果を報告すること。石綿が含有されている場合は、施工範囲や工法等について監督員と協議すること。)
調査箇所(計〇か所)
⊙調査済
・有【使用箇所】外壁・上裏:底の天端・見付:()
⊙無(外壁)

コンクリート打放し仕上げ外壁、モルタル塗り仕上げ外壁における浮き、欠損、爆裂、ひび割れ、の劣化改修工事に先立ち行う石綿含有仕上塗材の除去工事に適用する。

大気汚染防止法、労働安全衛生法及び石綿障害予防規則、廃棄物の処理及び清掃に関する法律その他関係法令を遵守するとともに、関係機関等と協議を行い、必要に応じて手続き等を遺漏なく適正に行うこと。
大気汚染防止法、石綿障害予防規則に定められた事項を掲示板により公衆及び作業員の見やすい箇所に掲示すること。また、必要に応じて周辺住民等へ掲示等で周知すること。

工事着手前に石綿に関する事前調査を実施し、結果について工事現場に備え置くとともに、発注者へ書面により説明を行うこと。

除去作業に先立ち、施工計画書(除去作業管理組織図、除去作業方法、掲示方法、産業廃棄物処理方法等)を作成して監督員に提出すること。
施工計画にあたり、令和3年3月厚労省及び環境省作成「建築物等の解体等作業に係る石綿ばく露防止及び石綿飛散漏えい防止対策徹底マニュアル」及び令和3年3月環境省作成「石綿含有廃棄物等処理マニュアル(第3版)」を参考とすること。
作業従事者及び施設利用者等の安全に配慮するとともに、施設利用者等の活動に支障が生じないよう留意すること。

1)共通事項
①石綿作業主任者…処理作業にあたって石綿障害予防規則に基づき選任すること。
②処理作業従事者…石綿障害予防規則に基づく特別の教育を受けた者としてすること。
③作業箇所に近接する室内の開口部等に粉塵が入らないよう窓を閉め、養生及び立入禁止措置を講ずること。
④作業箇所は、作業環境に応じてプラスチックシート等で適切に養生を行うこと。
⑤除去作業後、石綿作業主任者が目視により取り残しがないことを確認すること。
⑥除去完了後、作業箇所及びその周辺(ベランダ内部を含む)をHEPAフィルター付真空掃除機で清掃すること。
⑦除去した仕上塗材及び養生材、保護衣等は、排出形態に応じて適切に保管・運搬・処分を行うこと。
2)除去作業
①除去工法は、以下の石綿障害予防規則第6条の2第2項ただし書きに基づく隔離養生及び湿潤化と同等以上の効果を有する処理工法とすること。それ以外の工法とする場合は監督員と協議すること。
・剥離剤併用手工具ケレン工法
・集じん装置付きディスクグラインダーケレン工法
②使用する剥離剤については環境配慮型とし、使用前に事前試験を行い、適正条件を確認してから本施工すること。

吉野支所庁舎外壁改修その他工事

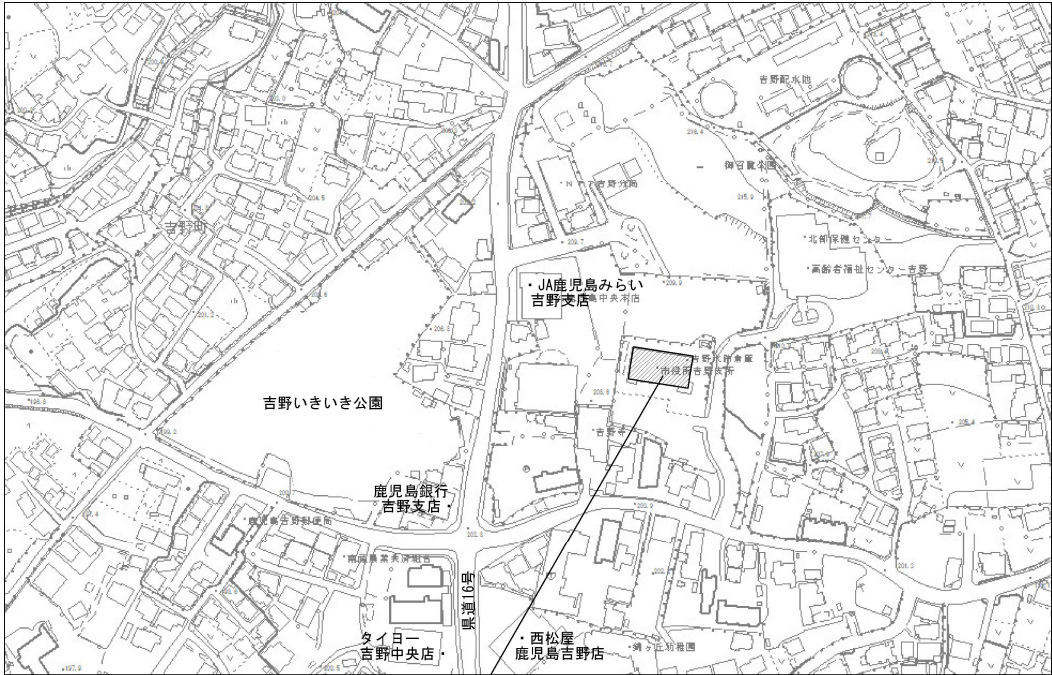
外壁改修工事特記仕様書(2)

鹿児島市建設局建築部建築課

Ver.B90401

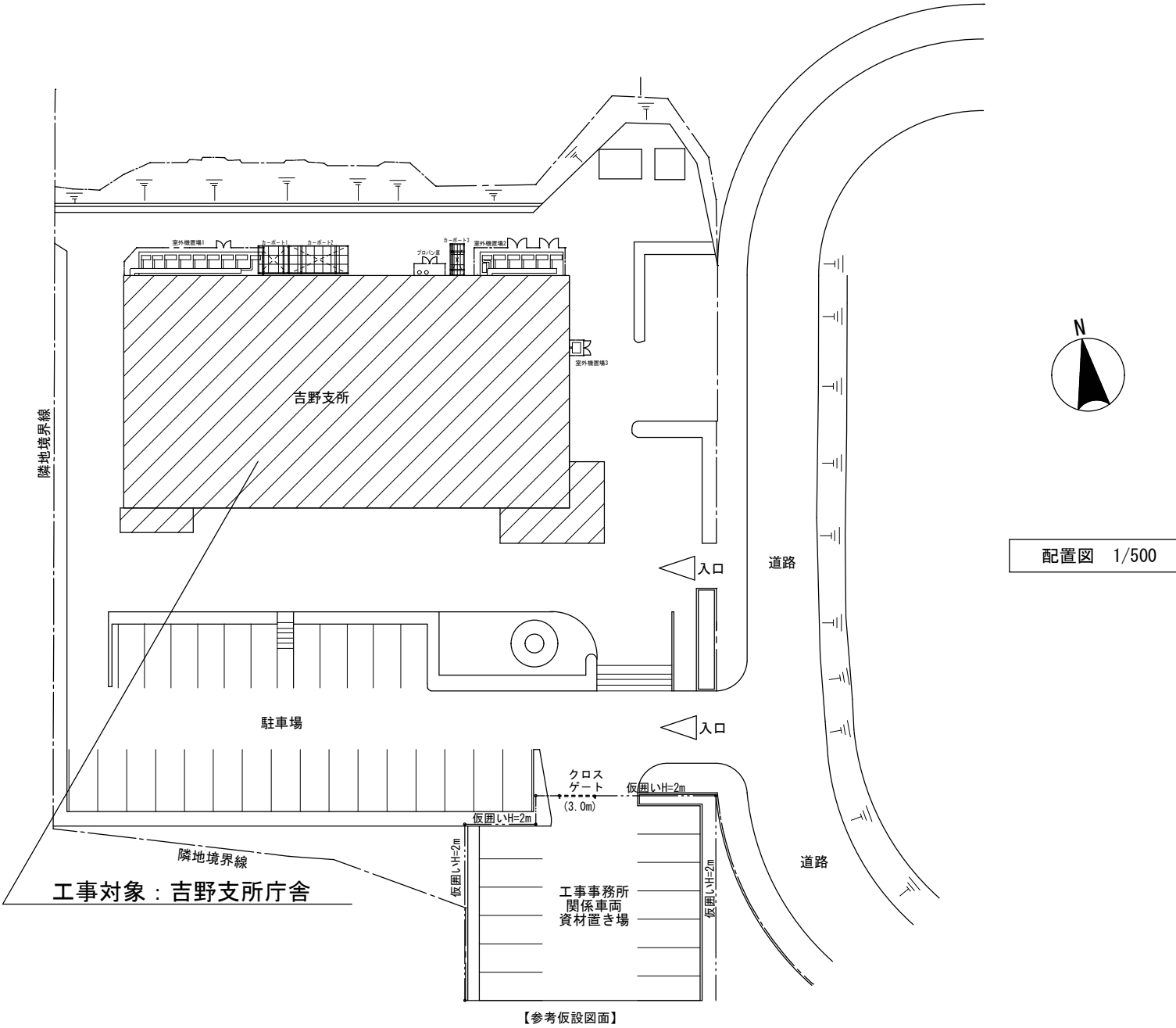
A-3

工 事 概 要		特 記 事 項			
工 事 名 称	吉野支所庁舎外壁改修その他工事	解体 撤 去 工 事	・改修建物の撤去工事については、躯体及び他の仕上げ材を損傷し悪影響を及ぼさない様に注意すること。	そ の 他	・内装の仕上に使用する建築材料は全て、F☆☆☆☆以上を使用すること。
工 事 場 所	鹿児島市吉野町3256番地3		・部分的な仕上げ材撤去については、専用切断機により切断し施工すること。		・改修工事により、その他の部分を破損した場合は現状復旧すること。
用 途 地 域	都市計画区域 市街化区域 第1種住居地域		・既設取付金具については、取付面の下地部分を撤去し、金物をコンクリート面で切断後		・改修工事のため本工事部分を施工前に現地実測の上、再確認すること。
建 物 概 要	鉄骨造 2階建 2階床面積 約748 m ² 1階床面積 約748 m ² 延べ床面積 約1497 m ²		・錆止め塗料（JIS-K-5674）を塗布して部分補修を行うこと。		・屋根等の新設部分については現地実測を行い、 施工図作成・強度の確認を承認してから、監督員に提出し監督員の承認を得てから発注・製作にかかること。
			・金物、鉄筋、錆部、躯体面より番線・金物の出ている場合、躯体面より切断の上、十分錆落としを行い		・既存仕上の取替・塗替部分及び既存との取合部分は、清掃の上既存下地処理・ケレンを行うこと。
			防錆処理を施して復旧すること。		・改修部分・既存のままの部分は、全て清掃を行い汚れ部を除去すること。
建 物 用 途	庁舎				
工 事 概 要	【外壁改修】 改修面積 741 m ² ・外壁：高圧水洗浄後、既存仕上げの上、透湿防水シート、金属板断熱材一体型パネルによる外壁カバー工法 ・外壁腰壁：高圧水洗浄の上、防水形複層塗材E塗 ・外壁巾木：高圧水洗浄、下地調整の上、DP塗装 【屋根改修】 改修面積 796 m ² ・屋根：ケレン・高圧水洗浄の上、フッ素系遮熱塗装 ・笠木：既存7mm笠木撤去後、7mmフルフィンク 敷込、下地笠木設置の上、外壁同材笠木（断熱材吹付）を新設 ・バラスト水切り：ボルトキャップの交換、取合シーリング 打替後、ケレン・高圧水洗浄の上、フッ素系遮熱塗装 ※水上側においては、上記工事に併せて既存水切り取外し後、止水面戸・17mm面戸撤去後新設（シーリング 共）、7mmフルフィンク 敷込後水切りの再取付を行うこと ・玄関ポーチ幕板：高圧水洗浄、下地調整の上、DP塗装 ・玄関ポーチ上裏：高圧水洗浄、下地調整の上、DP塗装 ・玄関ポーチ柱：高圧水洗浄	【その他】 ・外壁改修工事に伴う外壁付属物の取外し・再取付 ・建具の開閉不良箇所の改修 【既存シーリング 打替】 ・土台水切：MS-2(15×10) ・屋根水切取合：MS-2(20×10) ・玄関ポーチ幕板：MS-2(10×10)			



工事場所：吉野支所
鹿児島市吉野町3256番地3

付近見取図 No scale



工事対象：吉野支所庁舎

【参考仮設図面】

一級建築士事務所 知事登録 第1-6-112号 (有)新田建築設計事務所 一級建築士 第 189581号 新田 弘毅	吉野支所庁舎外壁改修その他工事		
	付近見取図・配置図・工事概要	A1: 1/250 A3: 1/500	A - 0 4
	鹿児島市建設局建築部建築課		

外 部 仕 上 表					特 記 事 項（外部）	
屋 根	【改修前】	t=0.8 折板屋根：フッ素樹脂ガルバリウム鋼板 山高88 既設のまま			<div>1. 外壁（新設材料）</div> <div>t=25 金属板断熱材一体型パネル<ul style="list-style-type: none">表面材:t=0.5 フッ素樹脂塗装2%マグネシウム添加 55%アルミニウム-亜鉛合金メッキ鋼板芯材:t=24 耐熱発泡ポリスチレン(自己消火性)裏面材:t=0.5 ポリエステル樹脂塗装 55%アルミニウム-亜鉛合金メッキ鋼板形状:フラット型 W900 施工:横張り 既存縦胴縁にビス止め 縦ジョイント金物:外壁同材 出隅金物:外壁同材 スターター金物:外壁同材 サッシ廻り金物:外壁同材 土台水切:外壁同材 笠木:外壁同材 下地笠木:外壁同材 改質アスファルトルーフィング:t=1 改質アスファルトルーフィング 自着層付 ※外壁同材とは「金属板断熱材一体型パネル」の表面材を指す。 ・金属屋根の製作並びに棟部納まり等詳細については、現場実測の上施工図を作成し、監督員の承諾を受けること。 ※各部の納まり詳細はメーカー仕様・施工図で決定する。 ・取付ビス等はステンレス製ワッシャー付とすること（露出部分は防水パッキン付とする）</div> <div>上記の新設材料の仕様は同等品以上とする。</div> <div>2. 外壁付属物 取外し・再取付:通気口、堅樋、軒樋、郵便ポスト、懸垂幕機、ドアホン案内板、換気口、外灯、アンテナ(2箇所)、照度計、室外機及び配管、裏口屋根、カーポート屋根、点検用ステンレス梯子、フェンス及び一部支柱、ガスメーター及びガスボンベ(別途工事) 取外し・撤去:アンテナ(1箇所)、植物ネット及びガイド支柱、丸環 取外し・保管:夜間受付ポスト 既設のまま:ドアホン、換気ダクト、空調動力盤、ブルボックス ・一時保管場所については、施設からの指定が無い場合、養生の上、工事ヤードで保管すること ・再取付後は、シーリング等で防水処理を適切に行うこと</div>	
	【改修後】	フッ素系遮熱塗装 新設				
外 壁	【改修前】	アクリル吹付タイル t=12 珪酸カルシウム板 t=0.27 亜鉛鉄板貼 t=0.7 防湿シート貼 既設のまま				
	【改修後】	t=25 金属板断熱材一体型パネル t=0.2 透湿防水シート 新設				
外壁腰壁	【改修前】	コンクリート打放の上、アクリル吹付タイル 既設のまま				
	【改修後】	防水型複層塗材E 新設				
外壁巾木	【改修前】	コンクリート打放の上、VP塗装 既設のまま				
	【改修後】	DP塗装 新設				
笠木	【改修前】	アルミ笠木 撤去				
	【改修後】	t=0.5 外壁同材笠木 t=4 ポリエチレンフォーム貼付 t=0.5 下地笠木 t=1 改質アスファルトルーフィング 新設				
パラペット水切り	【改修前】	t=0.8 フッ素樹脂ガルバリウム鋼板 山高88(2山重ね) t=12 珪酸カルシウム板 既設のまま	【改修後】	フッ素系遮熱塗装 新設		
パラペット水切り 水上側		t=0.8 フッ素樹脂ガルバリウム鋼板 山高88(2山重ね) 取外し t=12 珪酸カルシウム板 既設のまま		フッ素系遮熱塗装 新設 t=0.8 フッ素樹脂ガルバリウム鋼板 山高88(2山重ね) 再取付 t=1 改質アスファルトルーフィング 新設		
堅樋	【改修前】	硬質塩化ビニル管VU100 V P 掴み金物:ステンレス 取外し				
	【改修後】	硬質塩化ビニル管VU100 V P 掴み金物:ステンレス 外壁改修後再取付 DP塗装 新設				
軒樋	【改修前】	ステンレス箱樋 取外し				
	【改修後】	ステンレス箱樋 外壁改修後再取付				
アルミ建具	【改修前】	アルミ建具 既設のまま				
	【改修後】	一部排煙窓装置修理調整(5箇所) 一部開閉修理調整(2箇所)				
鋼製建具	【改修前】	鋼製建具 撤去(4箇所)				
	【改修後】	鋼製建具 新設(4箇所)				
通気口	【改修前】	陶器製通気口 撤去				
	【改修後】	外壁改修後ステンレス製深型フード100Φ 新設				

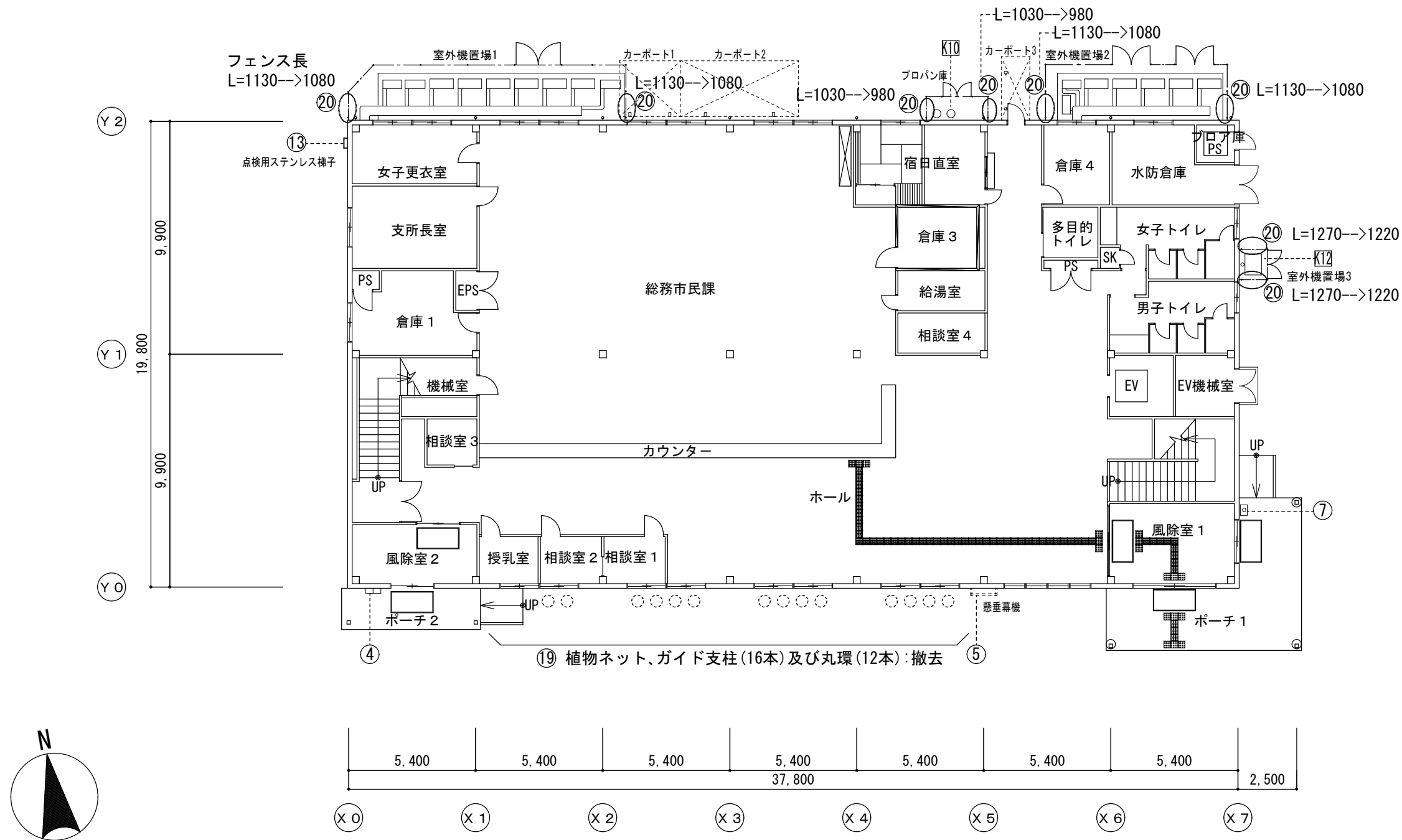
特記事項	庁舎は、開庁しているので来客等に十分注意し事故の無いように鹿児島市、吉野支所担当者、業者で工事内容、工事手順、工事日等打合せする事
	工事業者（壁、屋根、建具、設備等）で工事内容、工事手順、工事日等打合せして監督員の承諾を得る事
	設備の空調、ガス、電気等止める場合、出来るだけ短くし、日時、時間等の施設の了解を得る事
	空調については、7月～9月の施工は避け、施設への支障を最小限にする事
	東面の枠組本足場は空調の利用を考慮して10月以降に設置する事
	騒音、振動、粉塵、等出来るだけ少なくするように作業をする事

内 部 仕 上 表（主 な 部 屋 の み）													
階	室 名		床高 F L ±	天井高 床高+	床		巾 木		腰 壁 ・ 壁		天 井		備 考
					下 地	仕 上	仕 上	巾木高	下 地	仕 上	下 地	仕 上	
1 階	ホール	既設のまま	±0	2600	コンクリートコテ押えの上	t=2.8 長尺塩ビシート	ソフト巾木	H=75	LGS下地	t=12.5 石膏ボード の上 VP塗	軽量鉄骨下地	t=9 石膏ボード張 t=9 ロックウール化粧吸音板	
	事務室	既設のまま	±0	2600	コンクリートコテ押えの上	t=2 ビニール床タイル	ソフト巾木	H=75	LGS下地	t=12.5 石膏ボード の上 VP塗	軽量鉄骨下地	t=9 石膏ボード張 t=9 ロックウール化粧吸音板	
	廊下	既設のまま	±0	2600	コンクリートコテ押えの上	t=2.8 長尺塩ビシート	ソフト巾木	H=75	LGS下地	t=12.5 石膏ボード の上 VP塗	軽量鉄骨下地	t=9 石膏ボード張 t=9 ロックウール化粧吸音板	
2 階	ホール	既設のまま	±0	2600	コンクリートコテ押えの上	t=2 ビニール床タイル	ソフト巾木	H=75	LGS下地	t=12.5 石膏ボード の上 VP塗	軽量鉄骨下地	t=9.5 化粧石膏ボード張	
	事務室	既設のまま	±0	2600	コンクリートコテ押えの上	t=2 ビニール床タイル	ソフト巾木	H=75	LGS下地	t=12.5 石膏ボード の上 VP塗	軽量鉄骨下地	t=9 石膏ボード張 t=9 ロックウール化粧吸音板	
	廊下	既設のまま	±0	2600	コンクリートコテ押えの上	t=2 ビニール床タイル	ソフト巾木	H=75	LGS下地	t=12.5 石膏ボード の上 VP塗	軽量鉄骨下地	t=9.5 化粧石膏ボード張	

◎アスベスト含有成形板の対象物及び処理方法について（レベル3）

<div>1. 既存内・外装材における石綿含有の有無</div> <div><div>・ 未調査（以下の既存仕上材について石綿含有の分析調査を行い、監督員に結果を報告すること。 石綿が含有されている場合は、施工範囲や工法等について監督員と協議すること。） 調査箇所（計 箇所）</div><div>○ 調査済（ ・有 ○無 ） 【使用箇所】 ・ 検 出 ○ 未検出 壁ケイカル板 ・ 外壁部吹付タイル</div><div>・ みなし含有部分</div></div>	<div>2. 処理方法</div> <div><div>・ 他の解体工事に先立ち、除去対象となる部材を湿潤化した後「手ばらし」により、破壊や粉砕しないように処理すること。</div><div>・ 処理にあたっては、床養生シートを1m幅で敷き込み、飛散防止を図ること。</div><div>・ 撤去したアスベスト含有成形板は、湿潤化の上、厚さ0.15mm以上のプラスチック袋詰め及び養生シートによる梱包等で飛散防止をする。（2重梱包）</div></div> <div>3. 安全衛生管理</div> <div><div>・ 石綿則に定める「石綿作業主任者（特定化学物質作業主任者の中から選任）」が作業管理者となり、その作業管理者の指示に従って作業する。</div><div>・ アスベスト含有成形板・仕上塗材の処理工事は、アスベストの解体等の作業にかかる石綿則を遵守すること。</div><div>又、作業者は就業時に石綿則第27条に基づく特別の教育を受けた者とする。</div><div>・ 使用器具・機械類等は、アスベスト含有成形板の除去に必要な工具・機器類等であること。 （防塵マスク・エアレス噴霧器・H E P A フィルター付真空掃除機等）</div></div>	<div>4. 集積・運搬・処分</div> <div><div>・ 高所からの移動は、揚重機等を使用して、アスベスト含有成形板・含有塗材を高所から投下しないこと。</div><div>・ 除去したアスベスト含有の集積及び積込みは、廃棄物の積替え移動回数を最小限になるよう計画すること。</div><div>・ アスベスト含有の運搬にあたっては、運搬車両の荷台全体をシート等で完全に覆い、飛散防止に努めること。</div><div>・ マニフェスト票の備考欄に「アスベスト含有」であることを明示し、適正に処分すること。</div><div>※ 関係法令：改正石綿障害予防規則（石綿則）・大気汚染防止法</div></div>
--	--	--

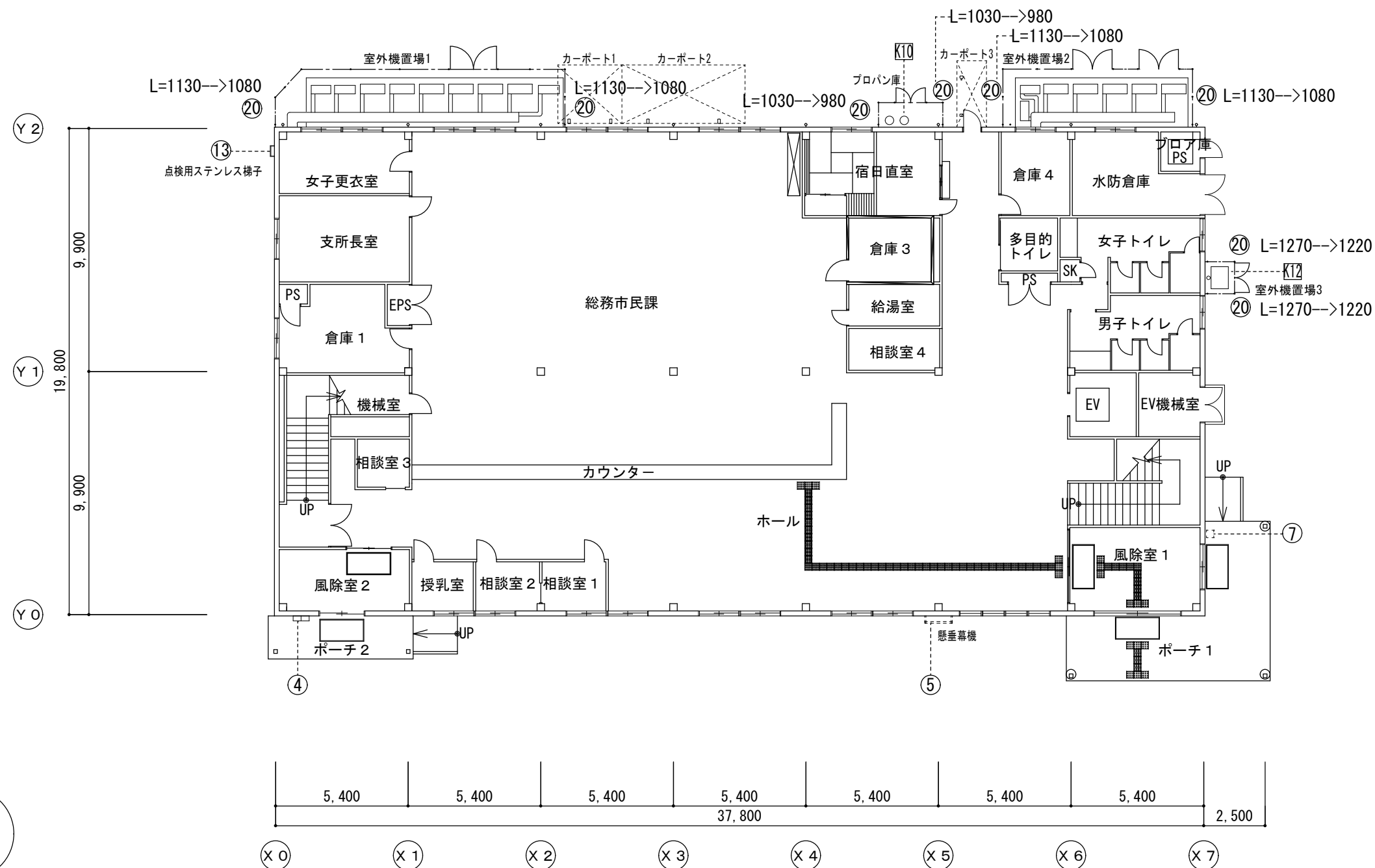
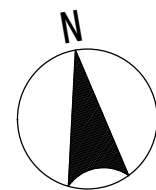
一級建築士事務所 知事登録 第1-6-112号 (有)新田建築設計事務所 一級建築士 第 189581号 新田 弘毅	吉野支所庁舎外壁改修その他工事			A－05
	外部仕上表・内部仕上表	No scale		
	鹿児島市建設局建築部建築課			



1 階平面図(改修前) 1/200

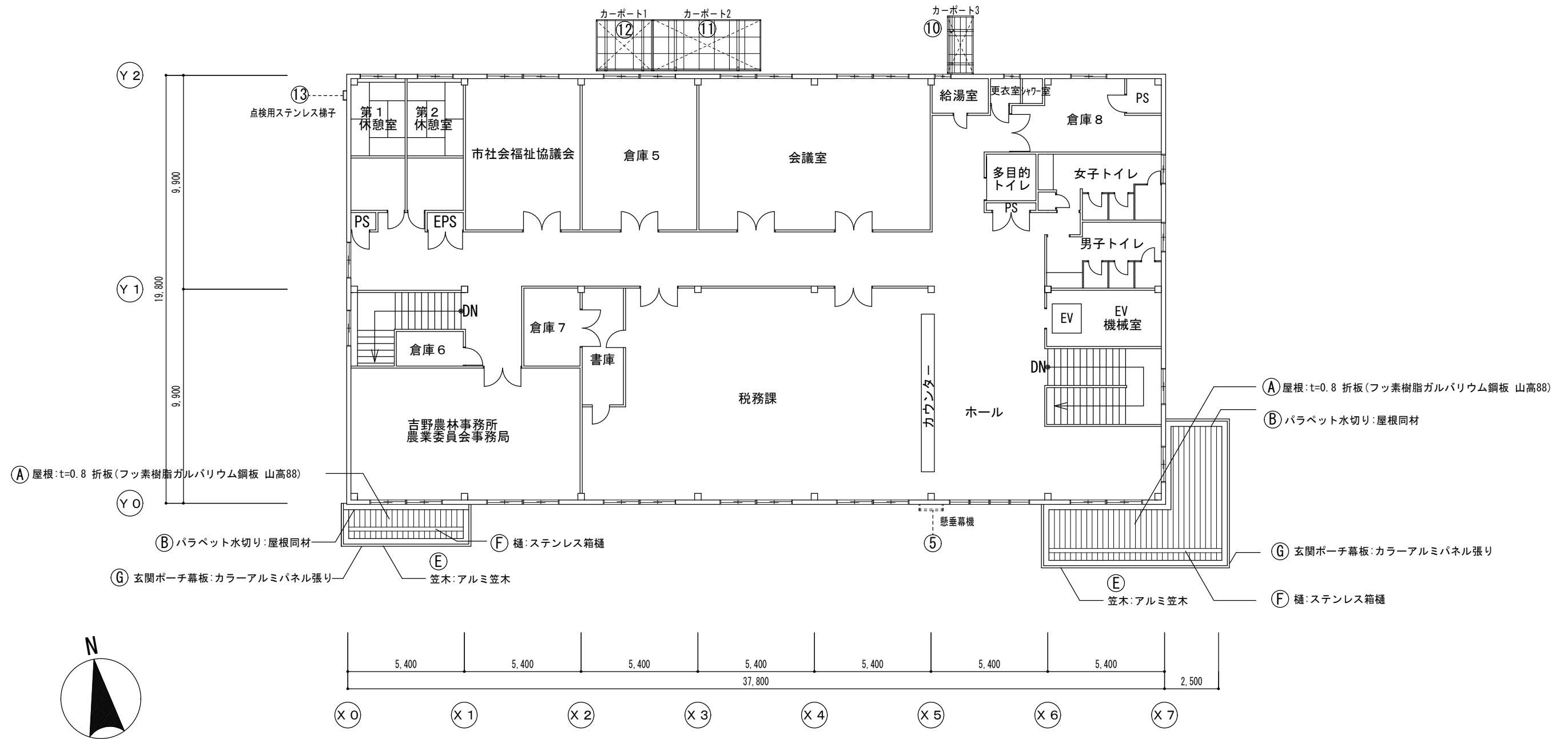
※特記事項:フェンス寸法、形状等、現場確認の上
監督員の承認を得る事。

				K10	ガスボンベ：取外し(別途工事)		
		13	点検用ステンレス梯子：取外し（取付金物共）	K12	室外機及び配管：取外し (工事期間:指定場所に仮設置)		
4	郵便ポスト：取外し (工事期間:指定場所に仮設置)						
5	懸垂幕機：柱材切断の上、取外し(取付金物共)						
		19	植物ネット及びガイド支柱(16本)：撤去・処分 丸環(12本)：撤去・処分の上、撤去部の補修			一級建築士事務所 知事登録 第1-6-112号 (有)新田建築設計事務所 一級建築士 第 189581 号 新田 弘毅	吉野支所庁舎外壁改修その他工事 1 階平面図 (改修前) A1: 1/100 A3: 1/200 A-06
7	夜間受付ポスト：取外し後、支所内の水防倉庫に保管	20	フェンス：取外し フェンス支柱：外壁側支柱(1本)の取外し				



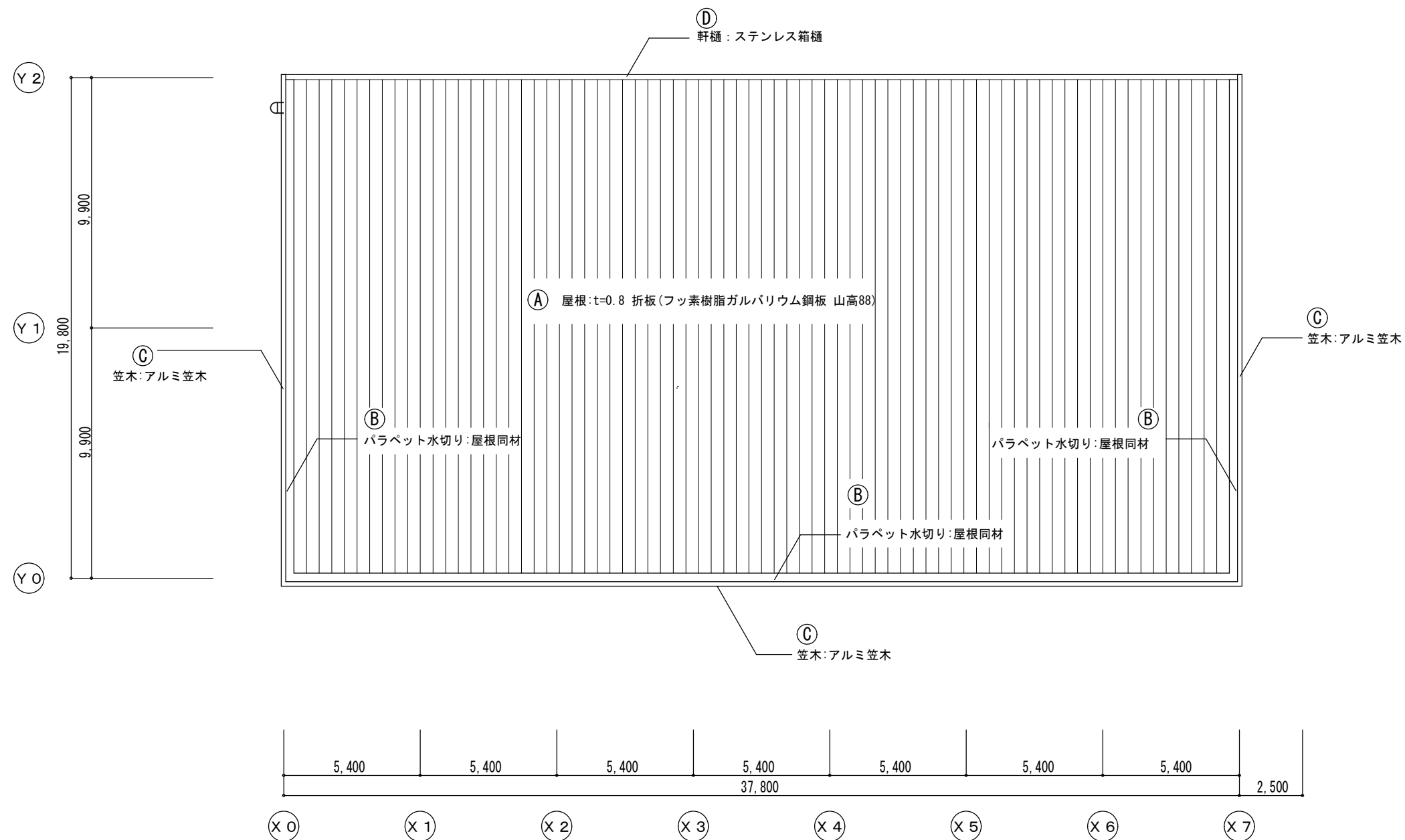
1 階平面図(改修後) 1/200

				K10	ガスボンベ:外壁改修後再取付(別途工事)	一級建築士事務所 知事登録 第1-6-112号 (有)新田建築設計事務所 一級建築士 第 189581 号 新田 弘毅	吉野支所庁舎外壁改修その他工事			
							1 階平面図 (改修後)		A1:1/100 A3:1/200	A-07
							鹿児島市建設局建築部建築課			
		⑬	点検用ステンレス梯子:接続部分及び端部補修 外壁改修後再取付(取付金物共)	K12	室外機及び配管:外壁改修後再取付					
④	郵便ポスト:外壁改修後再取付									
⑤	懸垂幕機:外壁改修後再取付(取付金物共) (ステンレスボルトにて再設置)									
		⑳	フェンス:外壁改修後再取付 フェンス支柱:外壁改修後再取付(土間復旧含む)							

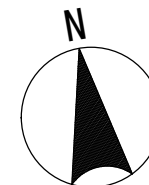


2 階平面図(改修後) 1/200

		⑩	裏口アルミ屋根:外壁改修後再取付	④	屋根:ボルトキャップの交換、ケレン・高圧水洗浄の上 フッ素系遮熱塗装
		⑪	カーポートアルミ屋根:外壁改修後再取付	⑤	パラペット水切り:ボルトキャップ交換、高圧水洗浄、 取合シーリング打替、ケレンの上フッ素系遮熱塗装
		⑫	カーポートアルミ屋根:外壁改修後再取付		水上側(北面)のみ:面戸シーリング打替、アスファルトル ーフィング敷込、水切り再取付
		⑬	点検用ステンレス梯子:接続部分及び端部補修 外壁改修後再取付 (取付金物共)		
⑤	懸垂幕機:外壁改修後再取付(取付金物共) (ステンレスボルトにて再設置)			⑥	笠木:外壁改修後、水上側(北面)の再取付、高圧水洗浄、 シーリング打替
				⑦	樋:高圧水洗浄
				⑧	玄関ポーチ幕板:高圧水洗浄、下地調整の上、DP塗装 既存シーリング打替
					一級建築士事務所 知事登録 第1-6-112号 (有)新田建築設計事務所 一級建築士 第 189581 号 新田 弘毅
					吉野支所庁舎外壁改修その他工事 2 階平面図 (改修後) 鹿児島市建設局建築部建築課
					A1: 1/100 A3: 1/200 A-09

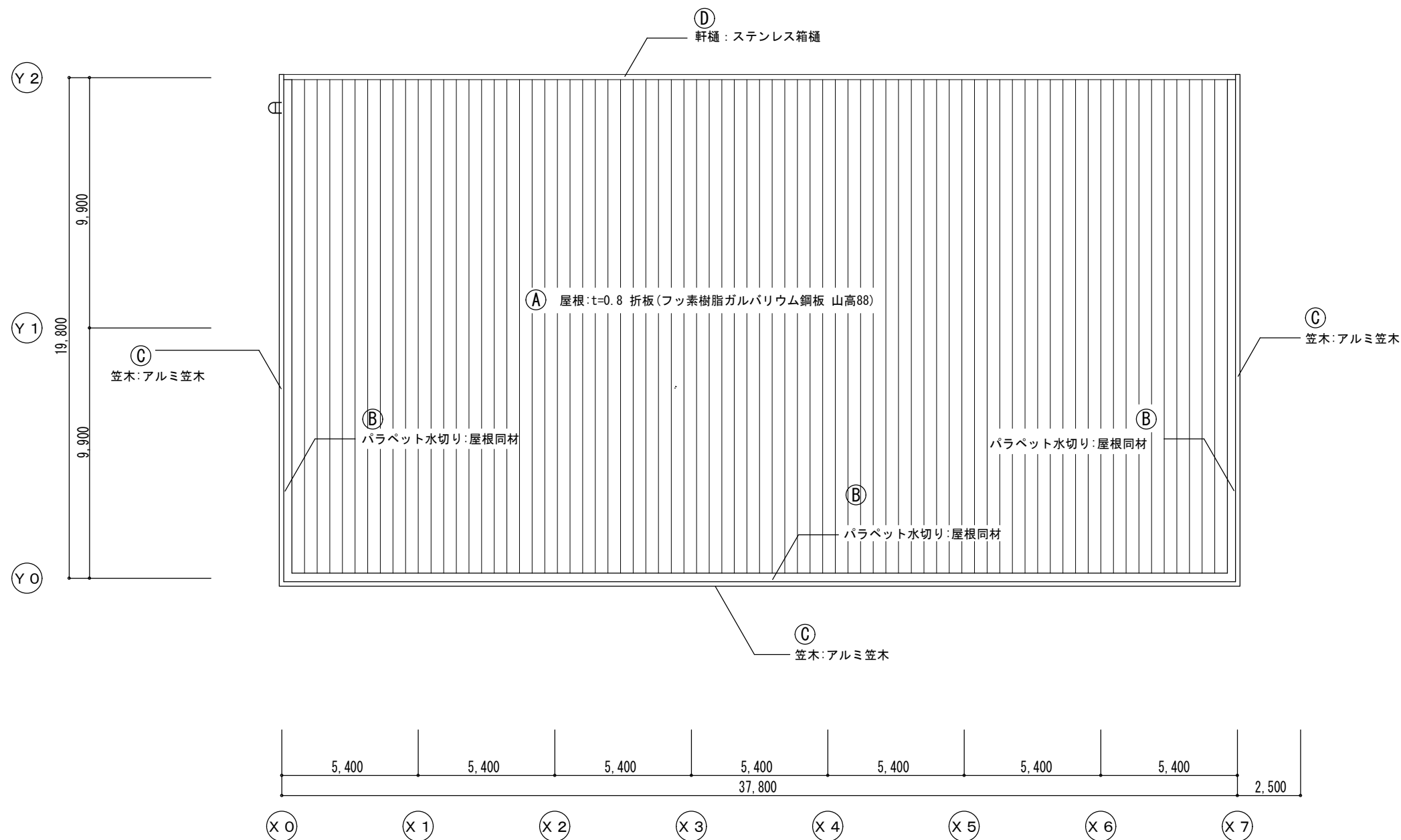


屋根平面図(改修前) 1/200



(B)	パラペット水切り: 水上側(南面)のみ取外し
(C)	笠木: 撤去・処分
(D)	軒樋: 取外し

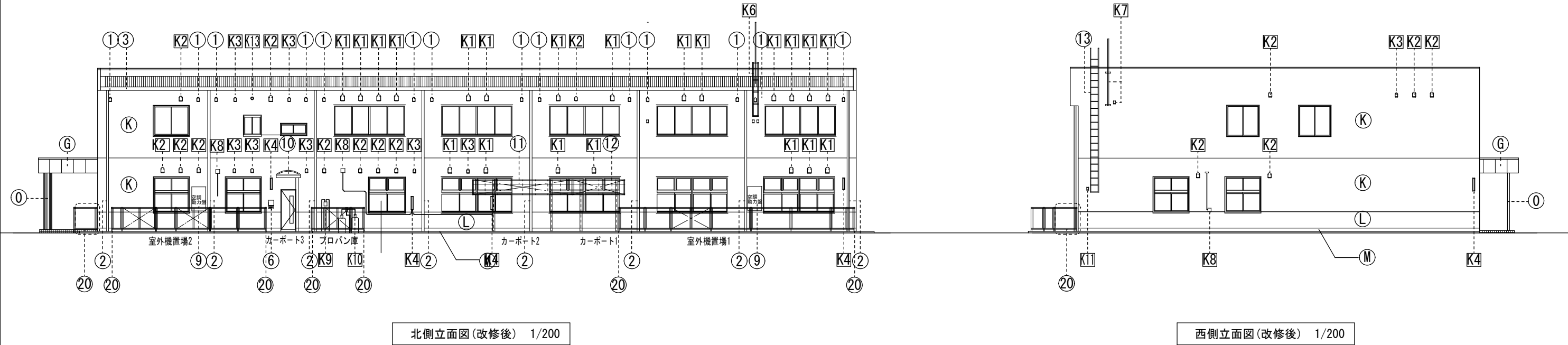
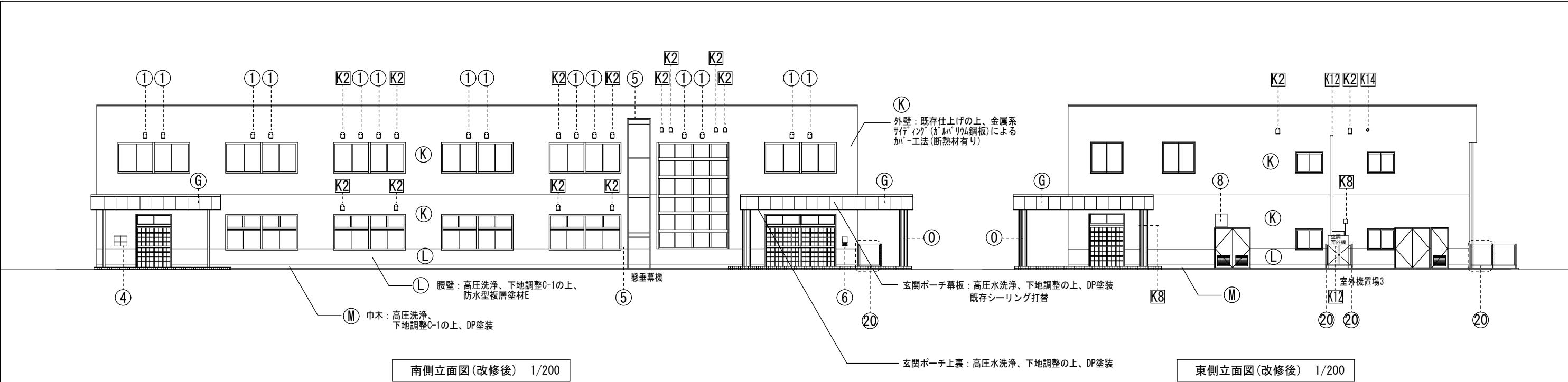
一級建築士事務所 知事登録 第1-6-112号 (有)新田建築設計事務所 一級建築士 第 189581 号 新田 弘毅	吉野支所庁舎外壁改修その他工事		
	屋根平面図 (改修前)	A1: 1/100 A3: 1/200	A - 1 0
	鹿児島市建設局建築部建築課		



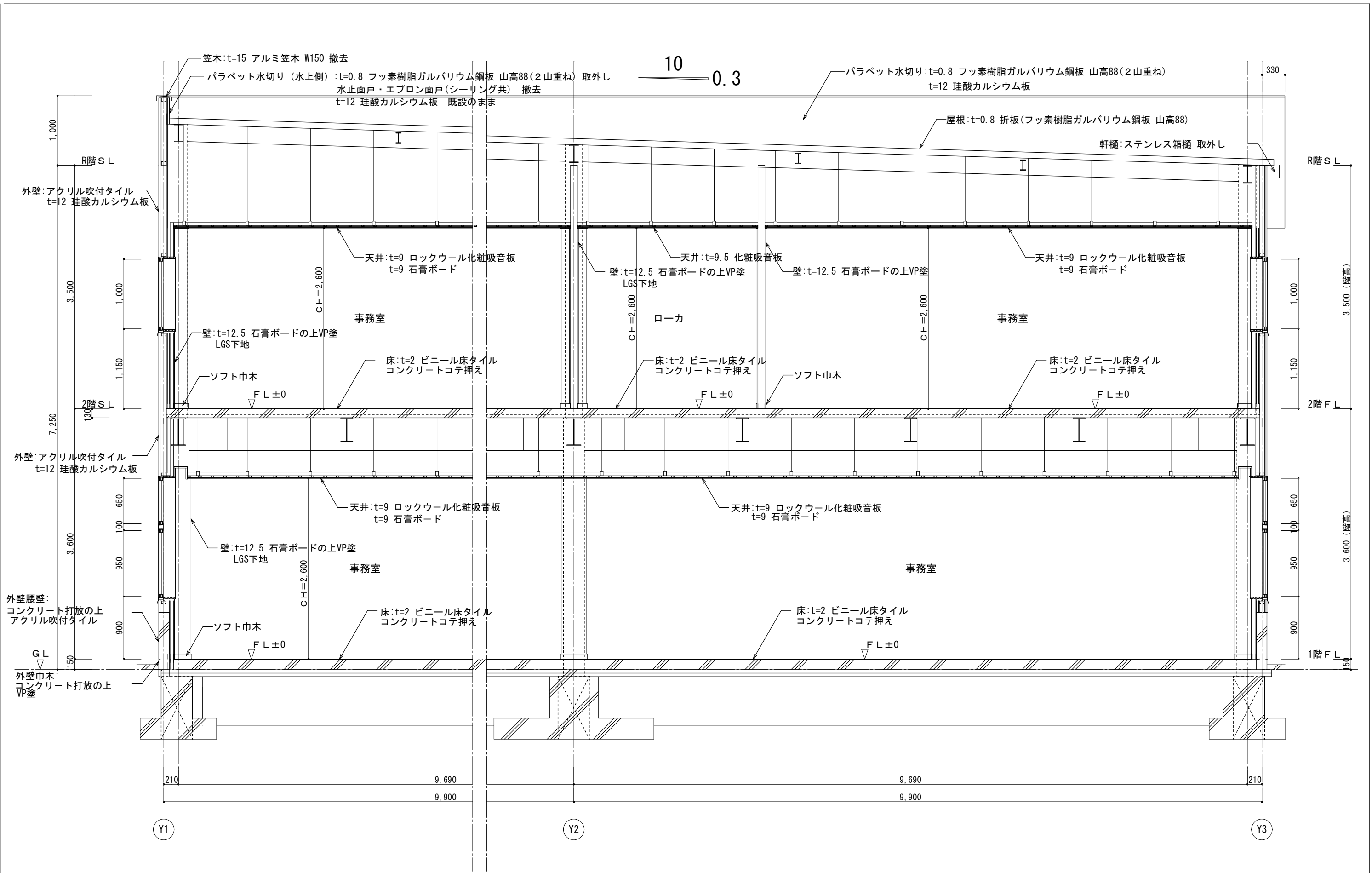
屋根平面図(改修後) 1/200

(A)	屋根: ボルトキャップの交換、ケレン・高圧水洗浄の上 フッ素系遮熱塗装
(B)	パラペット水切り: ボルトキャップ交換、ネジ・ビス締付、 高圧水洗浄、取合シーリング打替、ケレンの上フッ素系遮 熱塗装 水上側(南面)のみ: 水止面戸・エプロン面戸取替、アスフ アルトーフニング敷込、水切り再取付
(C)	笠木: 外壁同材笠木 断熱材付・アスファルトルーフィン グ 新設
(D)	軒樋: 外壁改修後再取付

一級建築士事務所 知事登録 第1-6-112号 (有)新田建築設計事務所 一級建築士 第 189581 号 新田 弘毅	吉野支所庁舎外壁改修その他工事	
	屋根平面図 (改修後)	A1: 1/100 A3: 1/200
	鹿児島市建設局建築部建築課	A-11

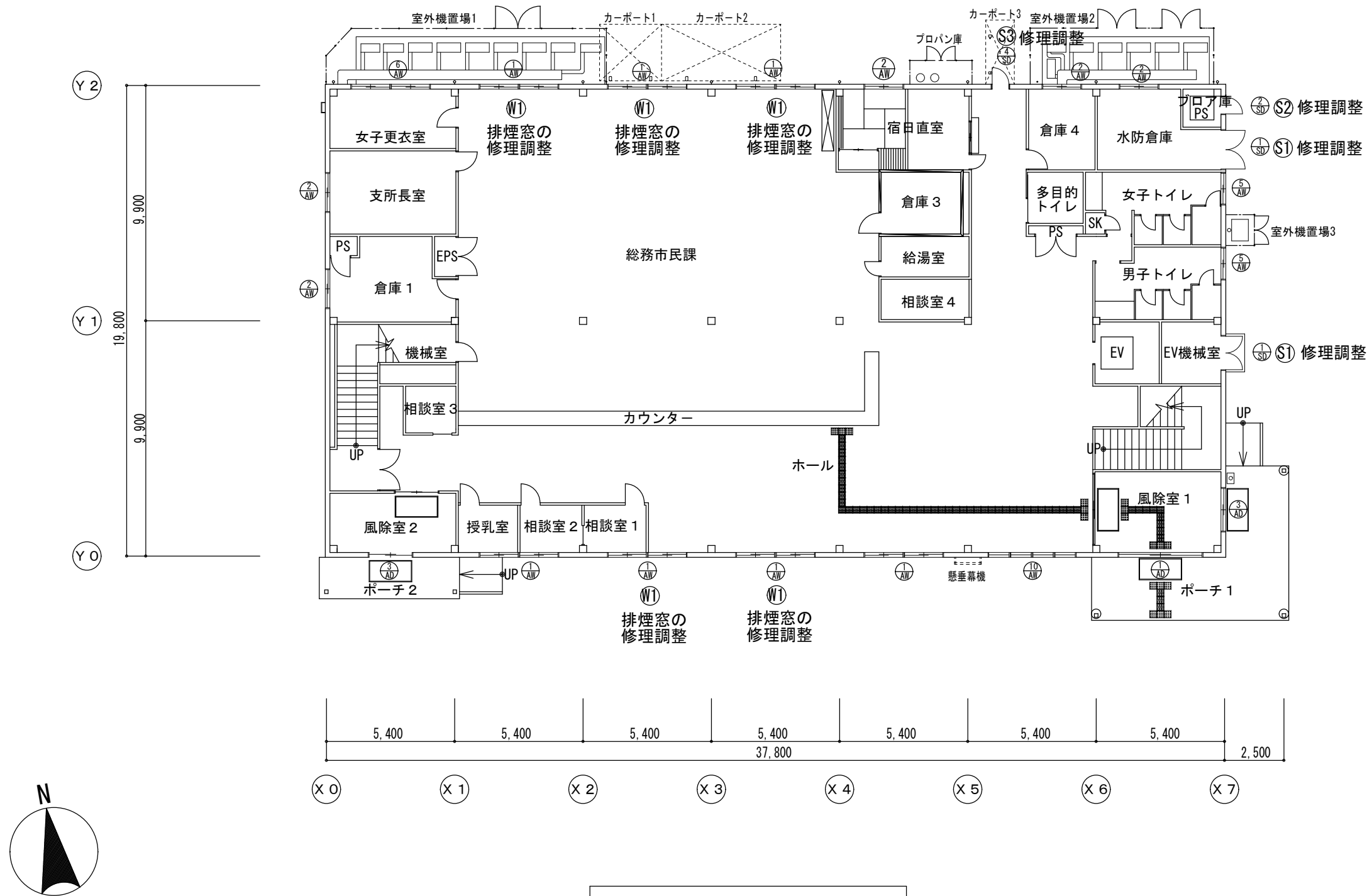


①	通気口:外壁改修後 新設	⑩	裏口アルミ屋根:外壁改修後再取付	K1	換気口 1:外壁改修後再取付	K10	ガスボンベ:外壁改修後再取付 (別途工事)		
②	縦樋:外壁改修後再取付(取付金物共) 高圧洗浄、下地調整 (C-1) の上DP塗	⑪	カーポートアルミ屋根:外壁改修後再取付	K2	換気口 2:外壁改修後再取付	K11	照度計:外壁改修後再取付		
③	軒樋:外壁改修後再取付	⑫	カーポートアルミ屋根:外壁改修後再取付	K3	換気口 3:外壁改修後再取付	K12	室外機及配管:外壁改修後再取付		
④	郵便ポスト:外壁改修後再取付	⑬	点検用ステンレス梯子:接続部分及び端部補修 外壁改修後再取付(取付金物共)	K4	外灯:外壁改修後再取付	K13	換気口4:外壁改修後再取付		
⑤	懸垂幕機:外壁改修後再取付(取付金物共) (ステンレスボルトにて再設置)	⑭	支柱 1 本新設の上、フェンス(約1m)長さ調整、錆止め、 塗装の上再取付(土間復旧)	K5		K14	換気口5:外壁改修後再取付		
⑥	ドアホン:既設のまま(新設壁端部、窓部分と同様の仕様) ドアホン案内板:外壁改修後再取付	⑮	玄関ポーチ幕板:高圧水洗浄、下地調整の上、DP塗装 既存シーリング打替	K6	TV用アンテナ:外壁改修後再取付				
		(K)	外壁:既存仕上げの上、透湿防水シート張の上、金属系 サイディング(ガルバリウム鋼板、断熱材一体型)によるカー工法	K7	アンテナ:外壁改修後再取付 (別途工事)	⑯	高圧水洗浄		
⑧	換気ダクト:既設のまま (新設壁端部、窓部分と同様の仕様)	⑰	腰壁:高圧水洗浄、下地調整の上、防水型複層塗材E	K8	プルボックス:既設のまま (新設壁端部、窓部分と同様の仕様)	一級建築士事務所 知事登録 第1-6-112号 (有)新田建築設計事務所		吉野支所庁舎外壁改修その他工事	
⑨	空調動力盤:既設のまま (新設壁端部、窓部分と同様の仕様)	⑱	巾木:高圧水洗浄、下地調整の上、DP塗装	K9	ガスメーター:外壁改修後再取付 (別途工事)	一級建築士 第 189581 号 新田 弘毅		立面図 (改修後) A1: 1/100 A3: 1/200	A - 1 3
								鹿児島市建設局建築部建築課	



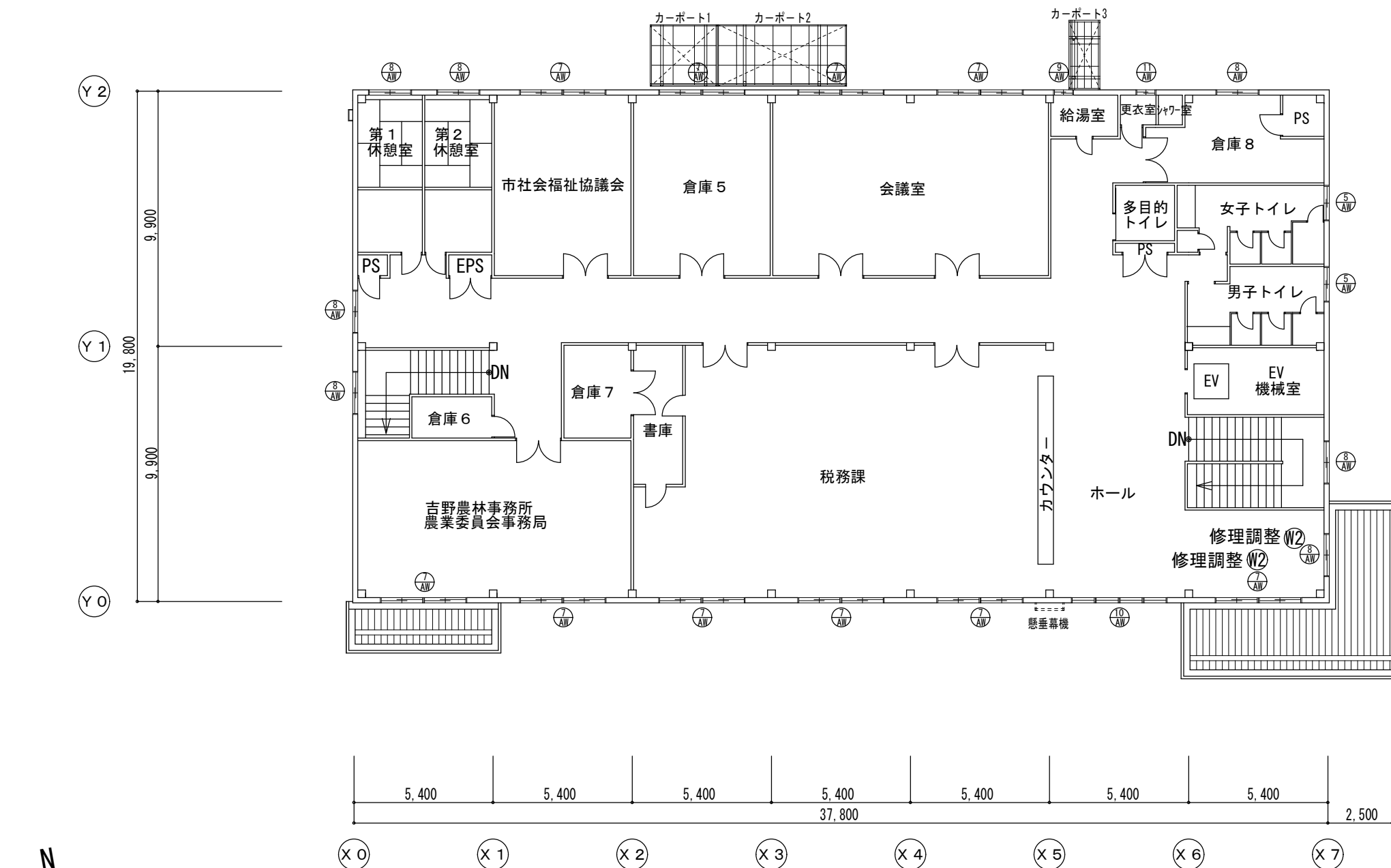
矩計図 (改修前) 1/50

一級建築士事務所 知事登録 第1-6-112号 (有)新田建築設計事務所 一級建築士 第 189581 号 新田 弘毅	吉野支所庁舎外壁改修その他工事		
	矩計図 (改修前)	A1: 1/25 A3: 1/50	A-14
		鹿児島市建設局建築部建築課	



建具配置図(1階) 1/200

W1	アルミ建具:排煙窓装置修理調整	5か所	S1	スチール建具:既存扉撤去の上、既存枠取合いによる扉製作・吊込み	2か所
			S2	スチール建具:既存扉撤去の上、既存枠取合いによる扉製作・吊込み	1か所
			S3	スチール建具:既存扉撤去の上、既存枠取合いによる扉製作・吊込み	1か所

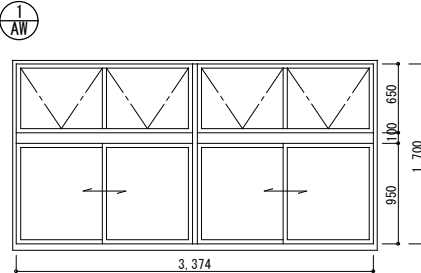
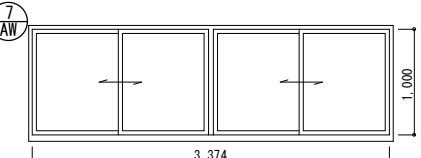
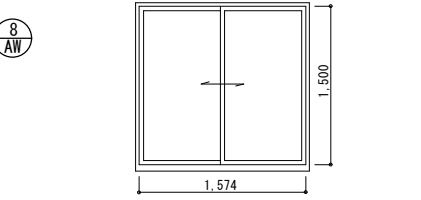
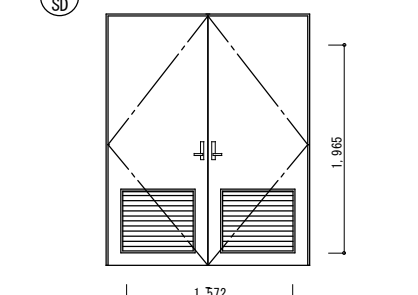
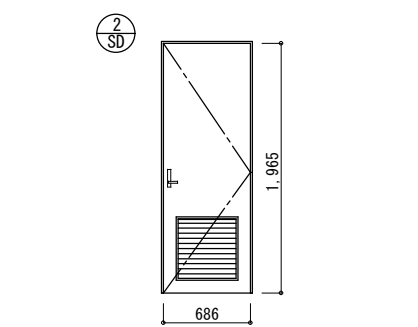
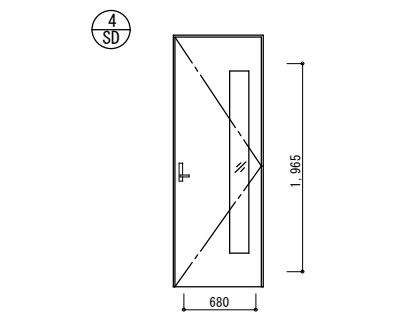


建具配置図(2階) 1/200

W2	アルミ建具:開閉修理調整	2か所

一級建築士事務所 知事登録 第1-6-112号 (有)新田建築設計事務所 一級建築士 第 189581号 新田 弘毅		吉野支所庁舎外壁改修その他工事 建具配置図(2階) 鹿児島市建設局建築部建築課	
		A1: 1/100 A3: 1/200	A-17

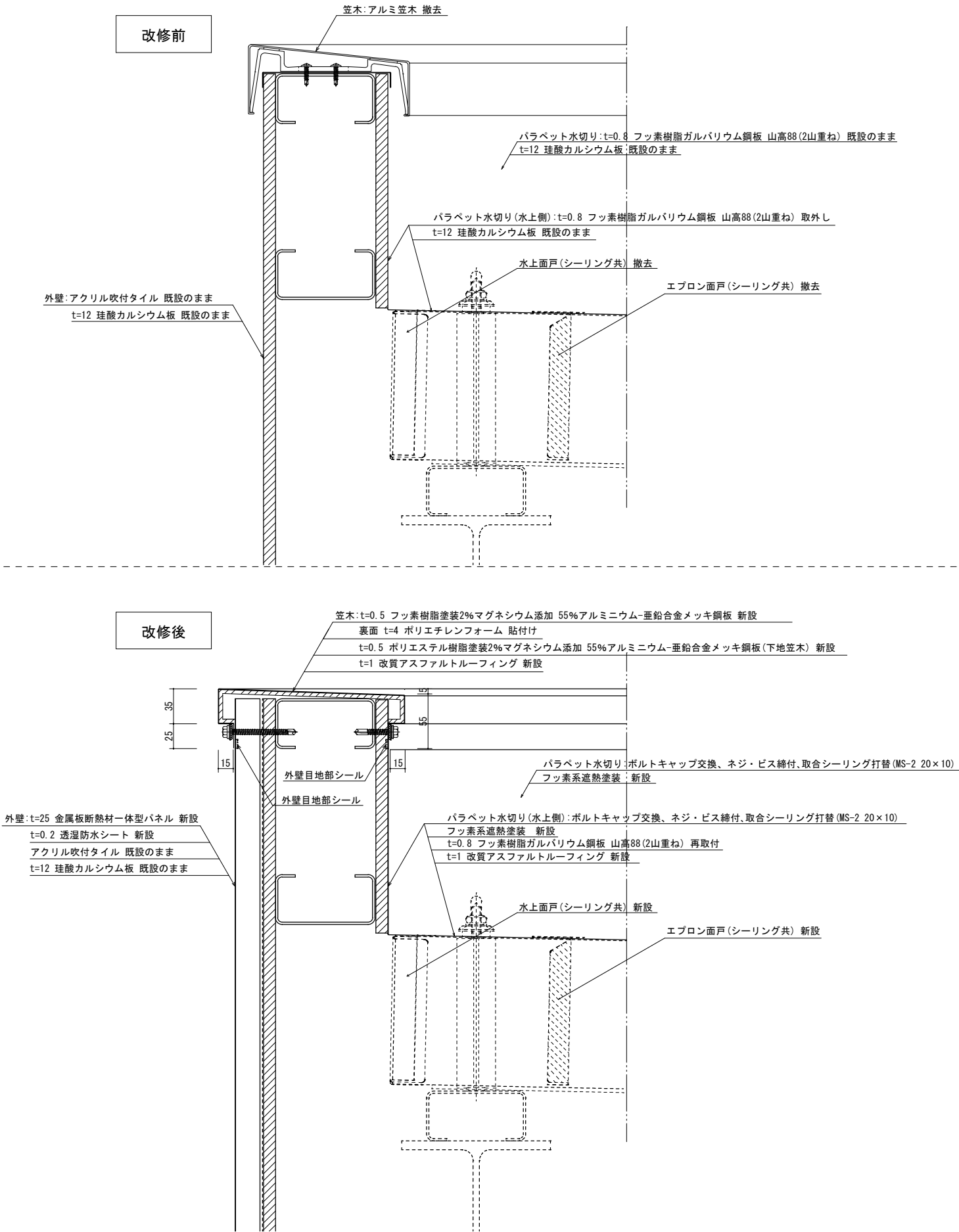
記 号	<div>① AD</div> 1箇所	<div>③ AD</div> 2箇所	<div>① AW</div> 7箇所	<div>② AW</div> 5箇所	<div>⑤ AW</div> 4箇所	<div>⑩ AW</div> 1箇所
姿 図						
型 式	複合窓	複合窓	2連外倒し排煙窓付引違窓	欄間付引違窓	引違窓	
材 質	アルミ製	アルミ製	アルミ製	アルミ製	アルミ製	
見 込	100	100	70	70	70	
仕 上	ステンカラー	ステンカラー	ステンカラー	ステンカラー	ステンカラー	
硝 子	6.8mm網入り磨き板ガラス	6.8mm網入り磨き板ガラス	6.8mm網入り磨き板ガラス	6.8mm網入り磨き板ガラス	6.8mm網入り磨き板ガラス	
金 物	附属金物一式 引き手バー 引き手錠	附属金物一式 引き手バー 引き手錠	附属金物一式、網戸	附属金物一式、網戸	附属金物一式、網戸	
備 考	両引分自動ドア	両引分自動ドア	オペレーター装置			
記 号	<div>⑥ AW</div> 1箇所	<div>⑦ AW</div> 10箇所	<div>⑧ AW</div> 7箇所	<div>⑨ AW</div> 1箇所	<div>⑪ AW</div> 1箇所	
姿 図						
型 式	2連欄間付引違窓	2連引違窓	引違窓	引違窓	引違窓	複合窓
材 質	アルミ製	アルミ製	アルミ製	アルミ製	アルミ製	アルミ製
見 込	70	70	70	70	70	70
仕 上	ステンカラー	ステンカラー	ステンカラー	ステンカラー	ステンカラー	ステンカラー
硝 子	6.8mm網入り磨き板ガラス	6.8mm網入り磨き板ガラス	6.8mm網入り磨き板ガラス	6.8mm網入り磨き板ガラス	6.8mm網入り磨き板ガラス	6.8mm網入り磨き板ガラス
金 物	附属金物一式、網戸	附属金物一式、網戸	附属金物一式、網戸	附属金物一式、網戸	附属金物一式、網戸	附属金物一式、網戸
備 考						オペレーター装置
記 号	<div>① SD</div> 2箇所	<div>② SD</div> 1箇所	<div>④ SD</div> 1箇所			
姿 図						
型 式	ガラリ付両開きスチールフラッシュエアタイトドア	ガラリ付片開きスチールフラッシュエアタイトドア	片開きスチールフラッシュエアタイトドア			
材 質	枠:ステンレス ガラリ:アルミ	枠:ステンレス ガラリ:アルミ	枠:ステンレス			
見 込	40 枠:200	40 枠:200	40 枠:200			
仕 上	焼付塗装、 枠ステンレスみがき	焼付塗装、 枠ステンレスみがき	焼付塗装、 枠ステンレスみがき			
硝 子			6.8mm網入り磨き板ガラス			
金 物	附属金物一式、ステンレス丁番、ドアクローザー	附属金物一式、ステンレス丁番、ドアクローザー	附属金物一式、ステンレス丁番、ドアクローザー			
備 考	ガラリ レバーハンドル、シリンダー錠	ガラリ レバーハンドル、シリンダー錠	レバーハンドル、シリンダー錠			
					一級建築士事務所 知事登録 第1-6-112号 (有)新田建築設計事務所 一級建築士 第 189581号 新田 弘毅	吉野支所庁舎外壁改修その他工事 建具表 A1: 1/25 A3: 1/50 A-18 鹿児島市建設局建築部建築課

記 号		W1	工事対象 5箇所	
姿 図				
型 式		2連外倒し排煙窓付引違窓		
材 質		アルミ製		
見 込		70		
仕 上		ステンカラー		
硝 子		6.8mm網入り磨き板ガラス		
金 物		附属金物一式、網戸		
備 考		オペレーター装置		
記 号		W2	工事対象 2箇所	
姿 図		 		
型 式		2連引違窓		
材 質		アルミ製		
見 込		70		
仕 上		ステンカラー		
硝 子		6.8mm網入り磨き板ガラス		
金 物		附属金物一式、網戸		
備 考				
《特記事項》 取替工事においては、原則既存建具枠を残し、扉本体・框・金物類(ハンドル・ドアクローザー等)を取り替えるものとする。施工に先立ち工事対象箇所の現場実測を行い、既存枠の歪みや不陸を考慮した施工図を提出し、監督員の承諾を得ること。 既存枠表面は、下地調整の上、塗装を施し、新規扉との取合いに隙間や不陸が生じないようにすること。 建具寸法等、現場確認の上施工すること。				
記 号		S1	工事対象 2箇所	
姿 図				
型 式		ガラリ付両開きスチールフラッシュエアタイトドア		
材 質		枠:ステンレス ガラリ:アルミ		
見 込		40 枠:200		
仕 上		焼付塗装、 枠ステンレスみがき		
硝 子				
金 物		附属金物一式、ステンレス丁番、ドアクローザー		
備 考		ガラリ レバーハンドル、シリンダー錠		
記 号		S2	工事対象 1箇所	
姿 図				
型 式		ガラリ付片開きスチールフラッシュエアタイトドア		
材 質		枠:ステンレス ガラリ:アルミ		
見 込		40 枠:200		
仕 上		焼付塗装、 枠ステンレスみがき		
硝 子				
金 物		附属金物一式、ステンレス丁番、ドアクローザー		
備 考		ガラリ レバーハンドル、シリンダー錠		
記 号		S3	工事対象 1箇所	
姿 図				
型 式		片開きスチールフラッシュエアタイトドア		
材 質		枠:ステンレス		
見 込		40 枠:200		
仕 上		焼付塗装、 枠ステンレスみがき		
硝 子		6.8mm網入り磨き板ガラス		
金 物		附属金物一式、ステンレス丁番、ドアクローザー		
備 考		レバーハンドル、シリンダー錠		
《工事概要》 アルミ建具:排煙窓装置修理調整 該当:AW-1 5箇所 ・ハンドルボックス、ステンワイヤー交換 ・リンクステイ交換 ・枠、障子滑車(隠蔽式)交換 ・開閉調整				
《工事概要》 アルミ建具:開閉修理調整 該当:AW-7 1箇所 AW-8 1箇所 ・戸車交換 ・開閉調整				
《工事概要》 スチール建具:既存扉撤去の上、既存枠取合いによる扉制作・吊込み 該当:SD-1 2箇所 寸法:W=1572 H=1965 扉:両開きフラッシュドア(SAT) 標準錆止塗装 新設 ガラリ、ステンレス防虫網、丁番 新設 枠補修、ステンレス額縁補修を施工すること ※ドアクローザー、LH錠は既設使用				
《工事概要》 スチール建具:既存扉撤去の上、既存枠取合いによる扉制作・吊込み 該当:SD-2 1箇所 扉:片開きフラッシュドア(SAT) 標準錆止塗装 新設 ガラリ、ステンレス防虫網、丁番 新設 枠補修、ステンレス額縁補修を施工すること ※ドアクローザー、LH錠は既設使用				
《工事概要》 スチール建具:既存扉撤去の上、既存枠取合いによる扉制作・吊込み 該当:SD-4 1箇所 扉:片開きフラッシュドア(SAT) 標準錆止塗装 スチール製額付小窓 新設 枠補修、ステンレス額縁補修を施工すること ※ドアクローザー、LH錠は既設使用				

一級建築士事務所 知事登録 第1-6-112号
(有)新田建築設計事務所
一級建築士 第 189581号
新田 弘毅

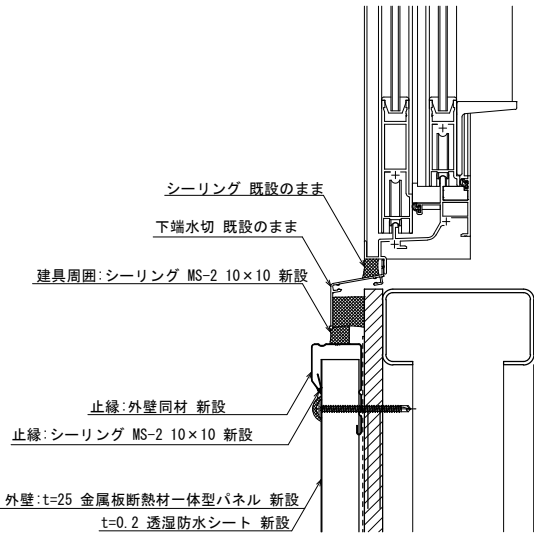
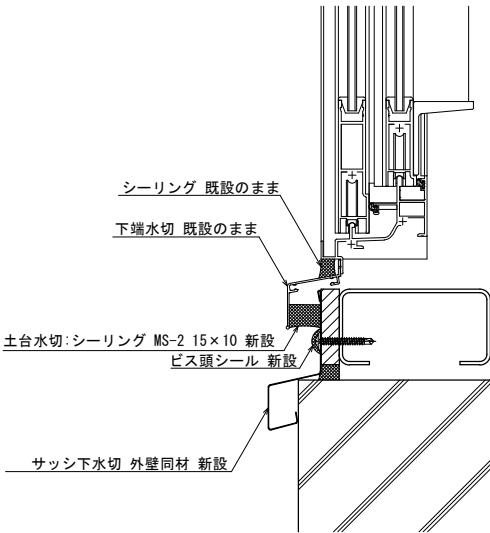
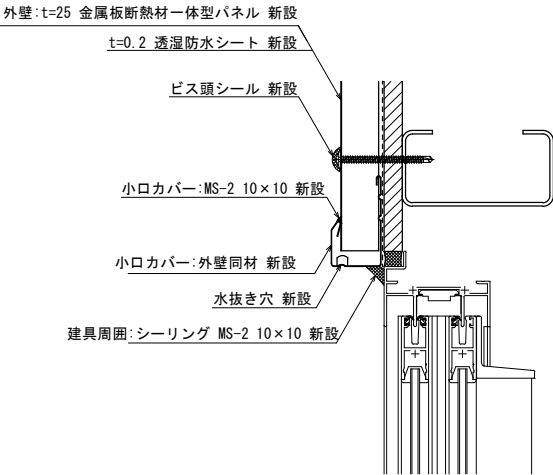
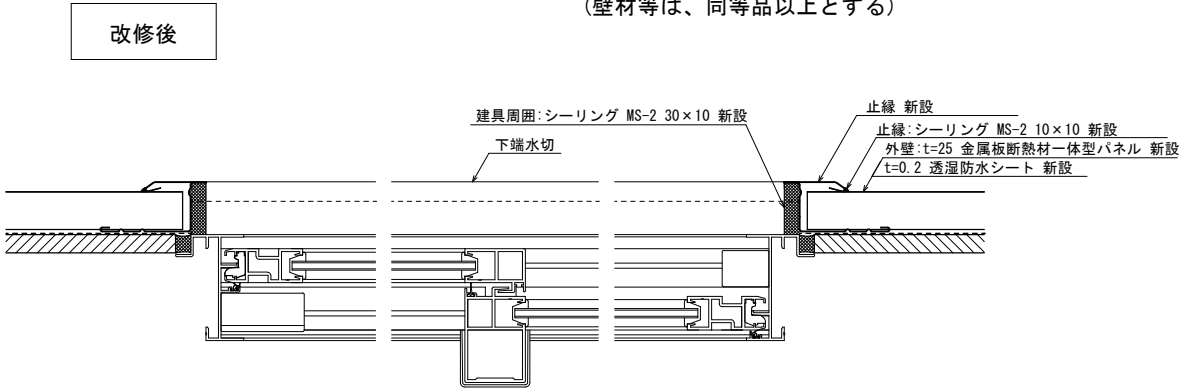
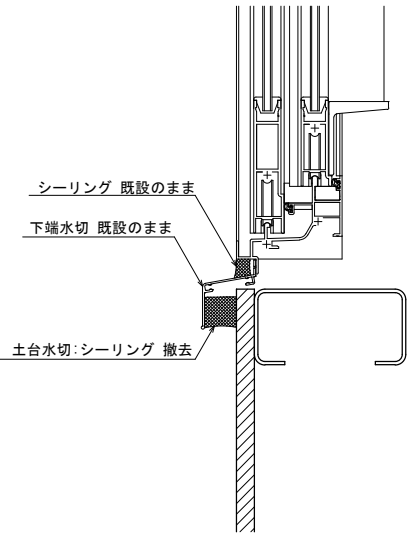
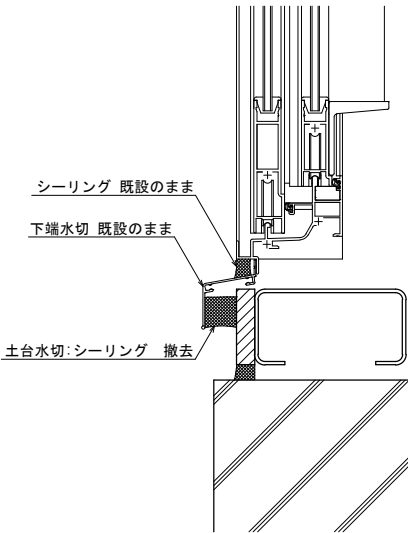
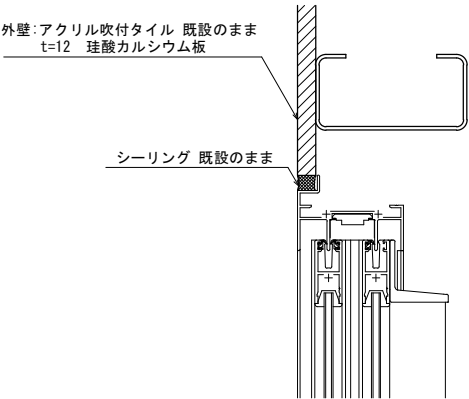
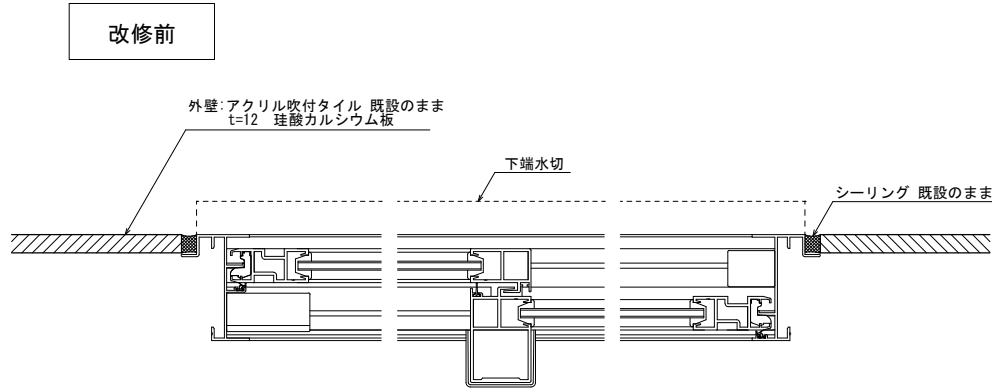
吉野支所庁舎外壁改修その他工事
建具詳細図
A1:1/25
A3:1/50
鹿児島市建設局建築部建築課

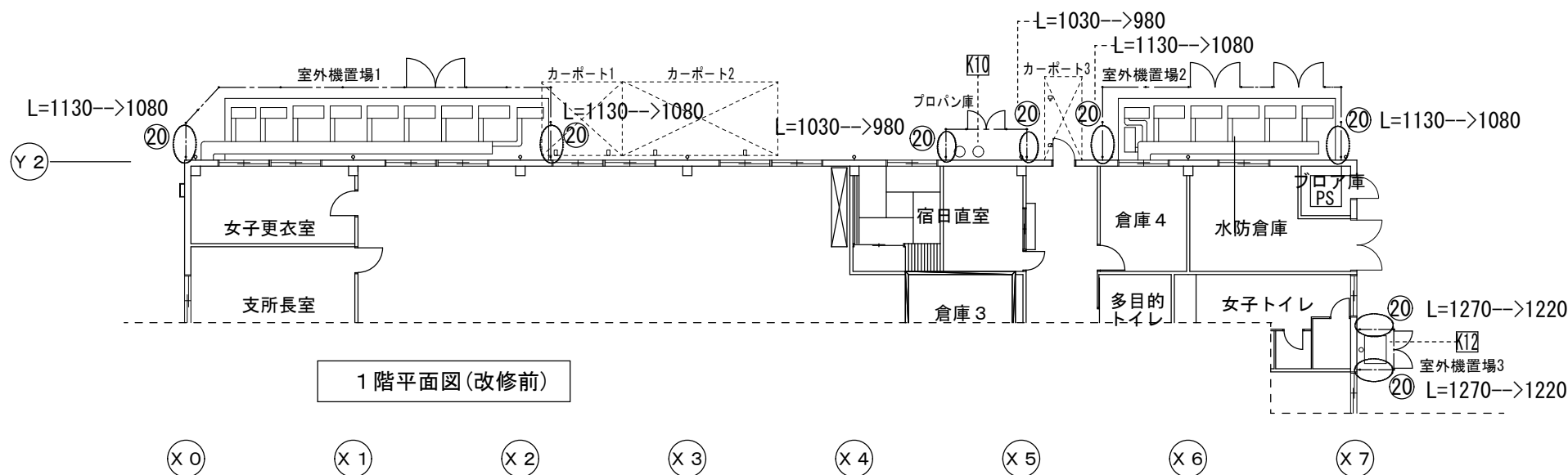
A-19



(壁材等は、同等品以上とする)

一級建築士事務所 知事登録 第1-6-112号 (有)新田建築設計事務所 一級建築士 第 189581号 新田 弘毅	吉野支所庁舎外壁改修その他工事		
	部分詳細図(2)	A1:1/2.5 A3:1/5	A-21
	鹿児島市建設局建築部建築課		





8か所のフェンス(約1m)を取外し、建物側支柱各1本を撤去し、壁改修後支柱1本新設し長さ調整したフェンスを再取付

㊀印部分 8ヶ所

作業工程

- ①フェンス(約1m)を取外す
- ②建物側支柱各1本を土間近くでカットし撤去する
- ③撤去した後の支柱を内側に曲げ込み土間天から4cm確保しモルタルコテ押え
- ④壁改修後、調整位置にコア抜きし支柱1本新設する
- ⑤長さ調整したフェンス(錆止め、塗装)を再取付

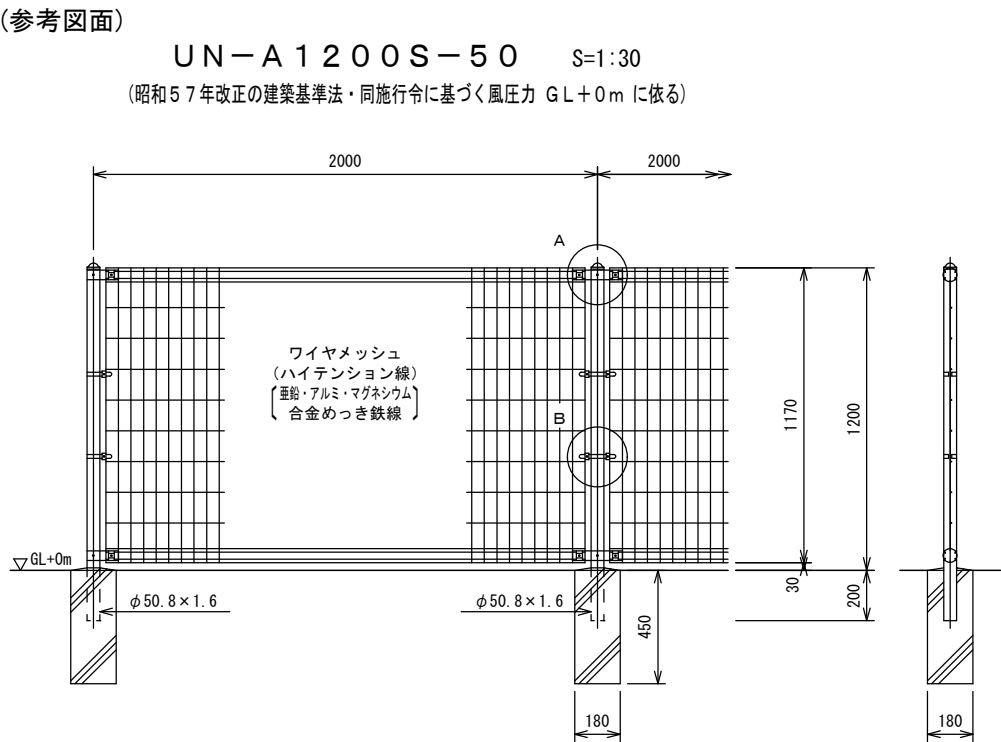
※調整位置、調整長さは、監督者の承認を得ること

作業工程 (X0-Y2のフェンスのみ)

(地下に排水孔が有るので支障のない位置に柱を新設)

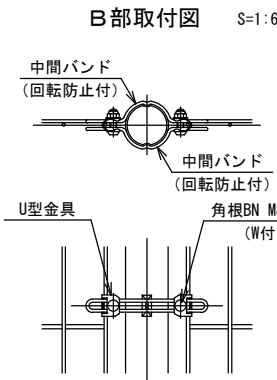
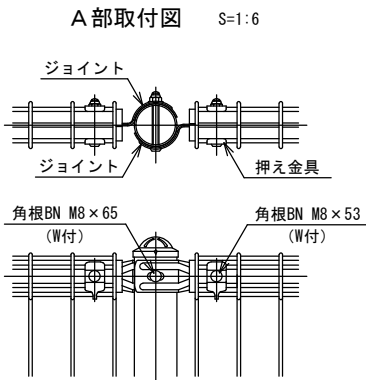
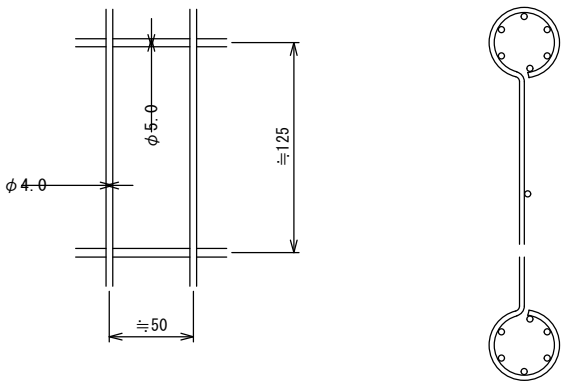
- ①フェンス(約1m)を取外す
- ②建物側支柱各1本を土間近くでカットし撤去する
- ③撤去した後の支柱を内側に曲げ込み土間天から4cm確保しモルタルコテ押え
- ④壁改修後、調整位置にコア抜きし支柱1本新設する
- ⑤長さ調整したフェンス(錆止め、塗装)を再取付
- ⑥建物側に片持ちフェンス(約30cm)を新設

※調整位置、調整長さは、監督者の承認を得ること



ワイヤメッシュ図
()内は芯径を示す。

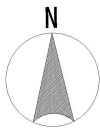
パネル断面図



標準的な取付図

パネルと柱のすきまが
せまい場合の取付図

- 設計条件
設計荷重・・・昭和57年改正の建築基準法・同施行令に基づく風圧力に
依る。
基礎条件・・・長期許容地耐力 98kN/m²(10t/m²)
- 備考
1. 外装について
・支柱、ジョイント
・押え金具
・ワイヤメッシュ
・バンド
・U型金具
・ボルト、ナット
- ・・・亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきの
上高耐候性樹脂粉末塗装
・・・亜鉛・アルミ合金めっきの上高耐候性
樹脂粉末塗装
・・・亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきの
上防錆着色処理
・・・溶融亜鉛めっきの上防錆着色処理

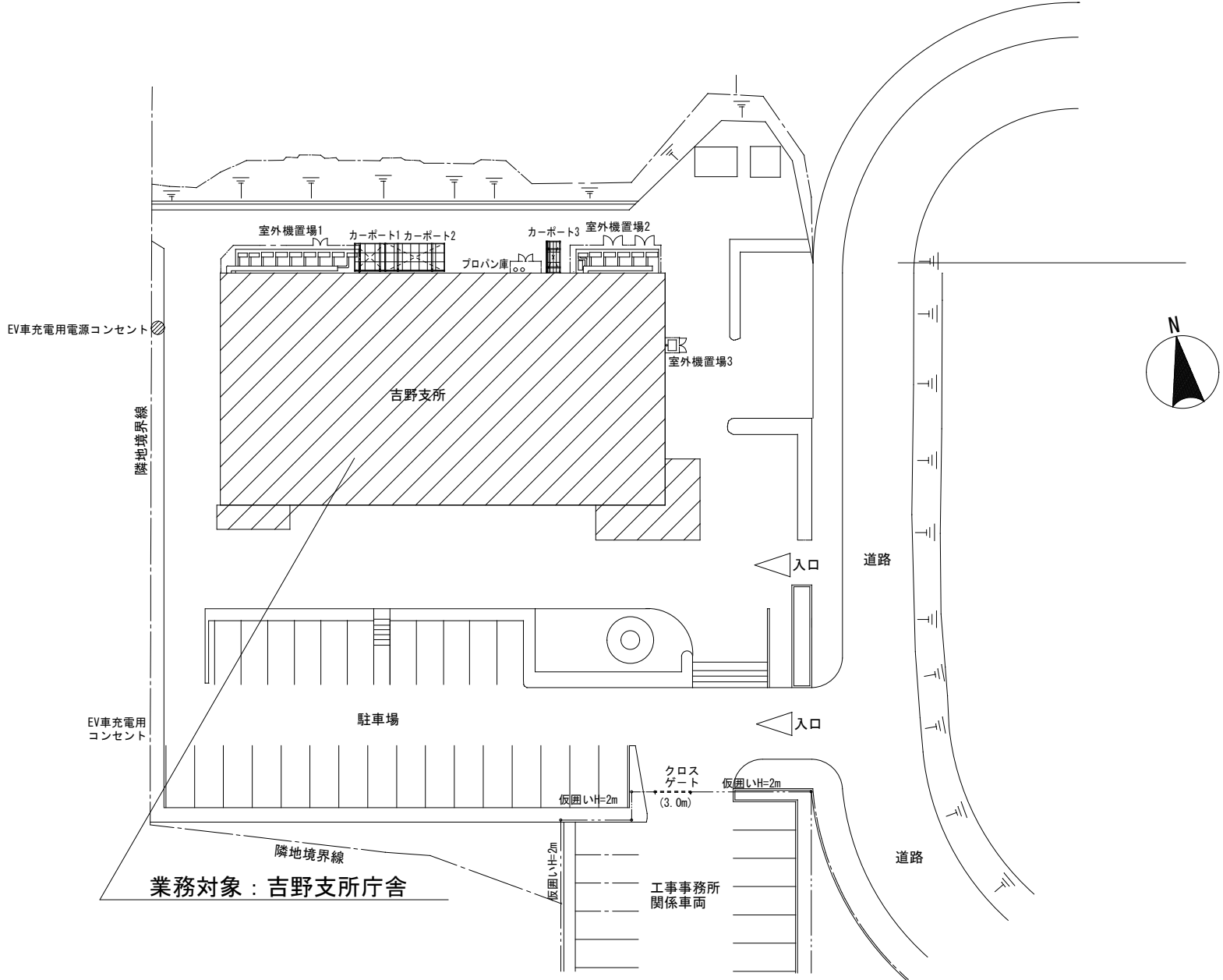


工事場所：吉野支所庁舎

付近見取図 No scale

電気設備工事 特記仕様

項 目	事 項
① 適用	(1) 本特記に規定する事項は、別の定めがある場合を除き、受注者の責任において履行すべきものとする。 (2) すべての設計図書は、相互に補完するものとする。ただし、設計図書間に相違がある場合の優先順位は、次のとおりとし、これにより難しい場合は「疑義に対する協議等」による手続きによる。 ア 設計図書等に関する質疑応答書 イ 特記仕様書 ウ 図面 エ 公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編） 令和7年版 及び 公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編） 令和7年版（改修及び修繕に限る） (国土交通省大臣官房官庁営繕部監修) オ 公共建築設備工事標準図（電気設備工事編） 令和7年版 (国土交通省大臣官房官庁営繕部設備・環境課監修)
② 遵守事項	工事は、電気設備技術基準、内線規程及び小売電気事業者の規程に従い施工する。なお、図面その他が諸規程と相違するときは、監督員の指示による。
③ 特殊な材料・工法	設計図書に記載されていない特殊な材料により施工する場合は、監督員の承諾を得る。なお、特殊な材料による施工は、当該製品の指定工法による。
④ 電気工作物の種類	○事業用電気工作物 ・一般用電気工作物



業務対象：吉野支所庁舎

配置図 1/500

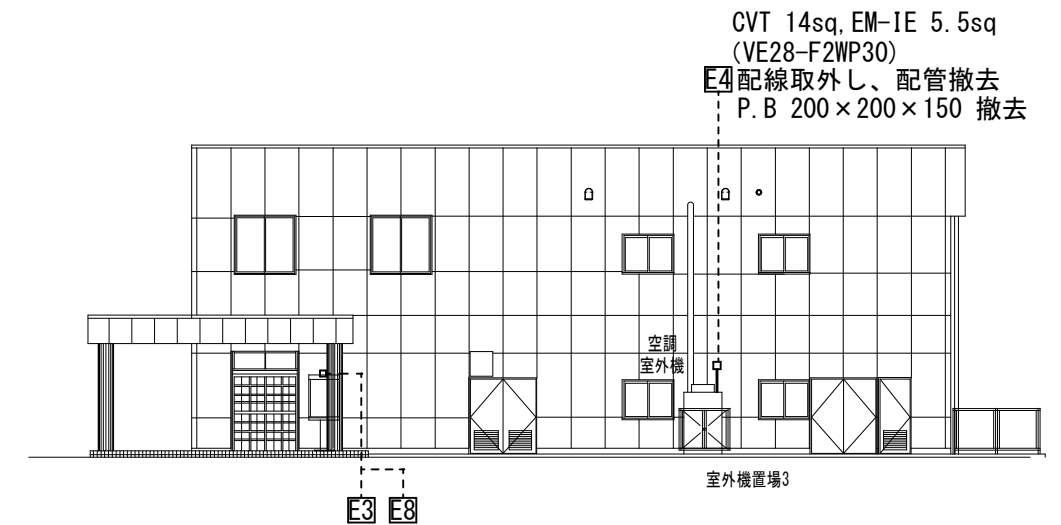
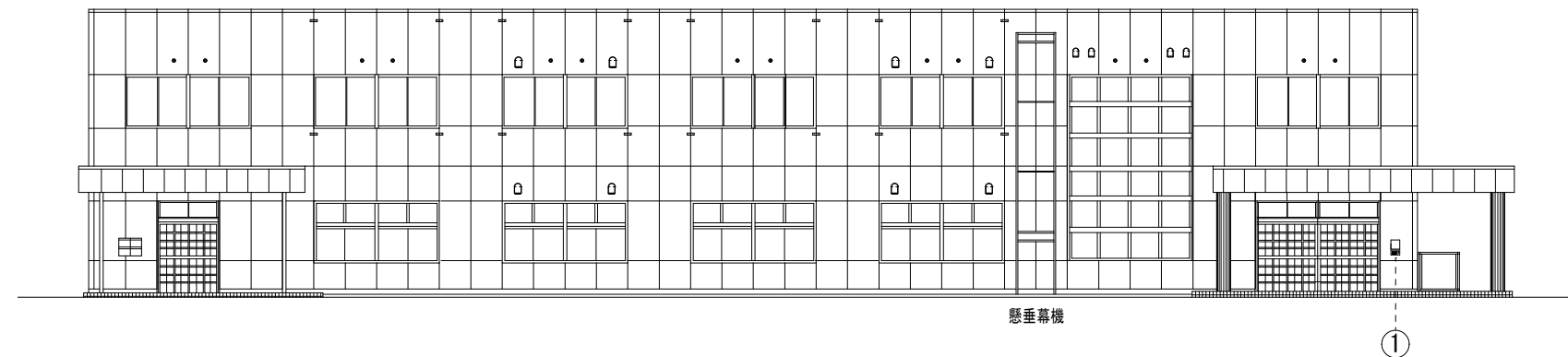
<建築工事で設置>
参考仮設図面

特記事項

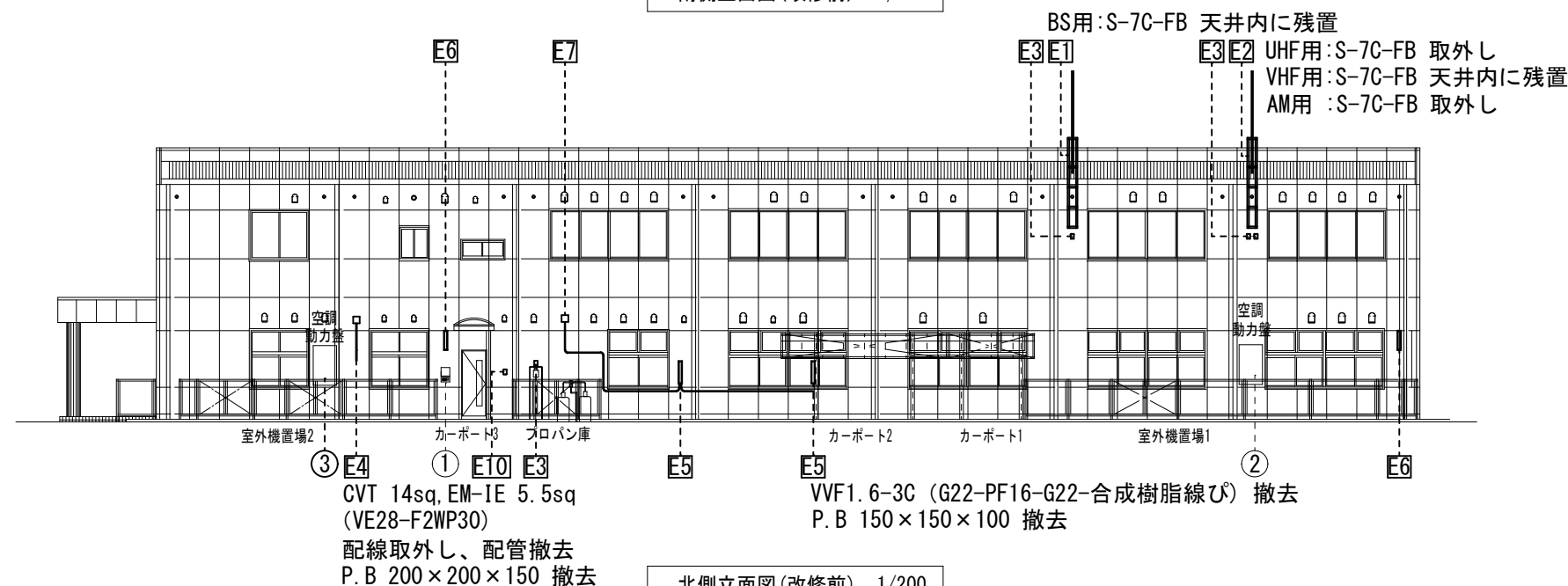
- 工事に際しては、施設管理者及び関係課担当者と入念な打ち合わせを行い、施設運営に支障のないようにすること。
また、施設利用者等への安全対策は、受注者が十分な誠意をもって行い、事故防止に万全を期すこと。
- 工事着手前に既存設備を十分に調査し、既存設備に支障を及ぼさないように注意して施工を行うこと。
- 万一、既存設備等に損傷を与えた場合は、速やかに監督員に報告し、受注者の負担にて原形復旧を行うこと。
- 高所での作業時は、墜落制止用器具等の装着着用を徹底し、安全作業には十分な対策を講じること。
- 屋外露出配管の支持等に使用する金物は、全てステンレス製または溶融亜鉛メッキ仕上げのものとする。

電気設備

吉野支所庁舎外壁改修その他工事		
付近見取図・配置図	A1: 1/250	E - 1
電気設備工事 特記仕様・特記事項	A3: 1/500	
鹿児島市建設局建築部設備課		

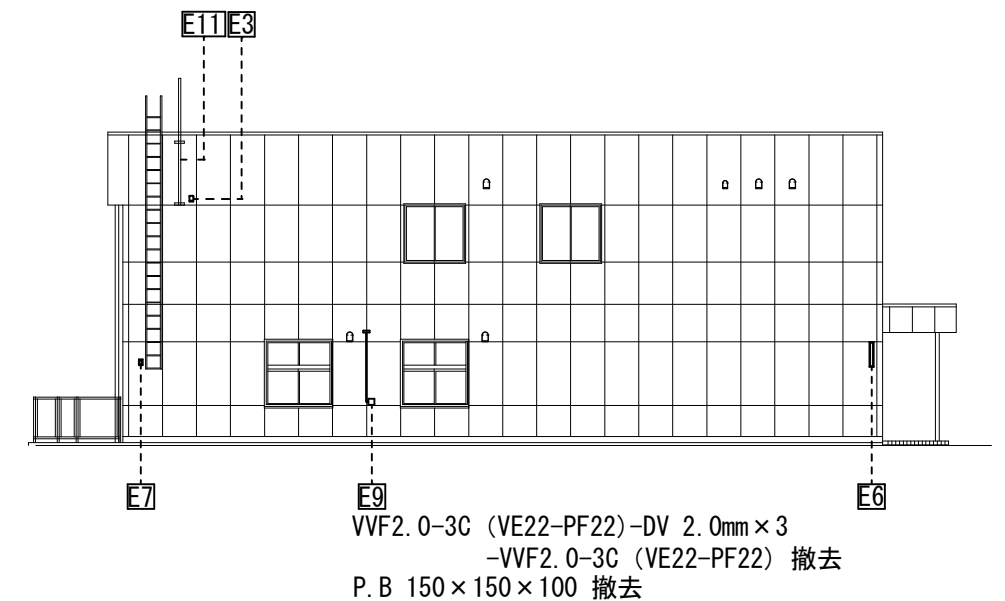


南側立面図(改修前) 1/200



北側立面図(改修前) 1/200

東側立面図(改修前) 1/200



西側立面図(改修前) 1/200

記号	項目	注釈	記号	項目	注釈
E1	BSアンテナマスト 撤去（器具、配線）	※1 ※2	E7	自動点滅器（外灯用） 撤去（器具のみ）	
E2	UHF・VHF・AMアンテナ、アンテナマスト 取外（器具【UHF・AM】、配線） 撤去（器具【VHF】）	※1 ※2 ※3 ※4	E8	夜間受付ボックス電源ケーブル 撤去	※5
			E9	EV車充電用コンセント一次側 撤去（配線、露出配管）	※5
E3	防雨入線カバー 撤去		E10	カバープレート 取外し	
E4	ACP-104f 一次側配線 取外し（配線）、撤去（配管、プルボックス）	※5	E11	衛星電話アンテナ、アンテナマスト 取外（器具【衛星電話】、配線）	※5 ※7
E5	外灯 撤去（器具、配線、露出配管、プルボックス）		①	ドアホン残置 ※建築工事	
E6	外灯 撤去（器具のみ）		②	空調動力盤残置 W700xH1200 ※建築工事	

<注釈>

- ※1 架台は建築工事にて撤去・取外
- ※2 VHF・BSアンテナの配線はアンテナ側と2F端子盤（T-1）
【VHF・BS】で離線を行い、端末処理を施し残置すること
（アンテナ側は天井内へ残置）
- ※3 工事期間足場に要仮設【UHF・AM】

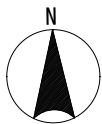
- ※4 仮設時はケーブルはFEP管等で保護する
- ※5 配線の取外し後は端末処理を行い、天井内へ残置
- ※6 一次側の離線、端末処理を行い残置する
- ※7 取外し後は発注者の指示に従い、器具の引渡しを行う

電気設備

吉野支所庁舎外壁改修その他工事		
立面図(改修前)	A1: 1/100 A3: 1/200	E-03
鹿児島市建設局建築設備課		

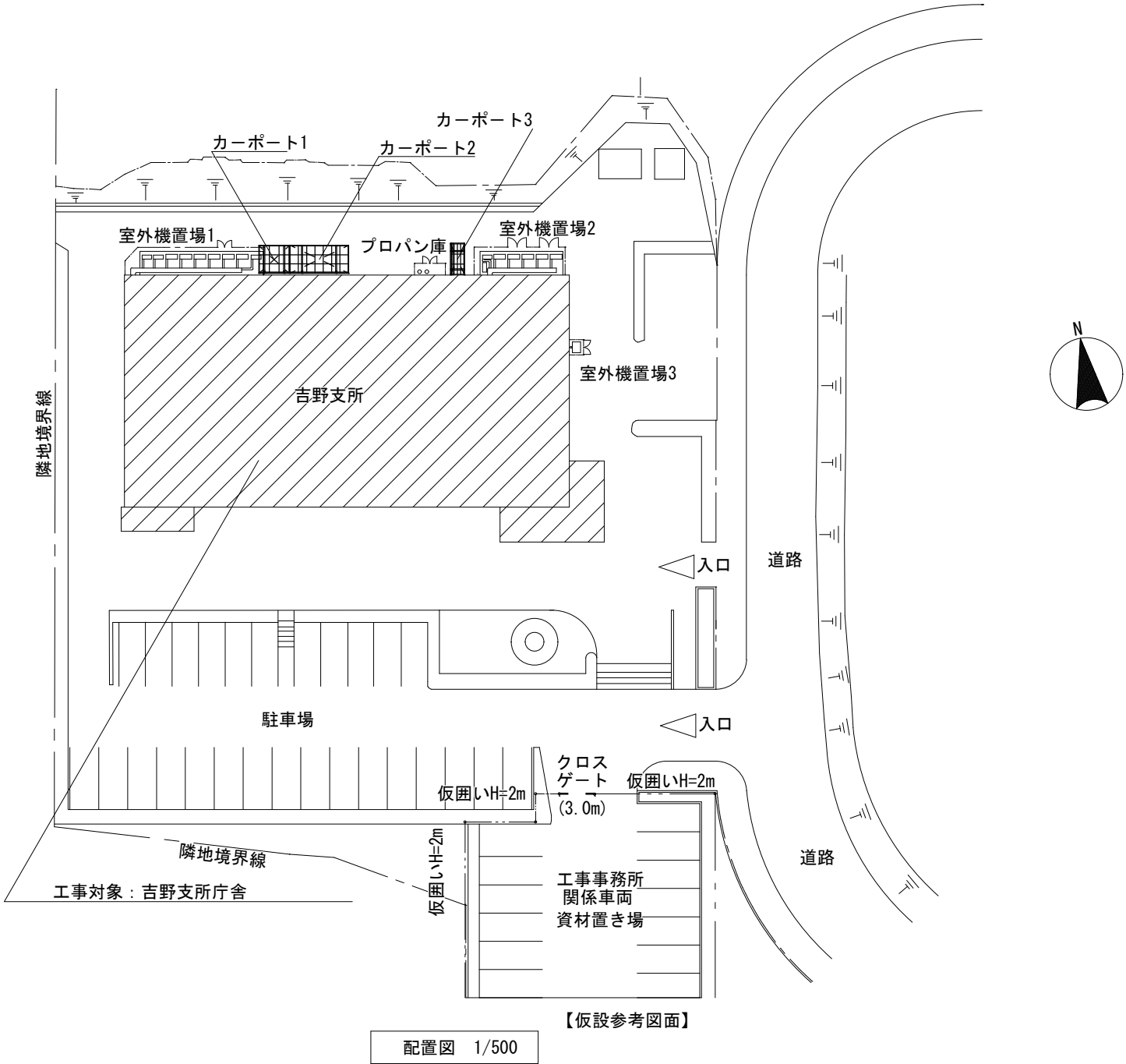
- 特記事項：1. 特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）令和7年版、公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）令和7年版、及び公共建築設備工事標準図（機械設備工事編）令和7年版、鹿児島市機械設備工事各種要領による。
2. 配管の外壁貫通箇所等は、確実に補修を行い水密を確保すること。
3. 冷媒ガスは、フロン排出抑制法に基づき適正に処理すること。
4. 工事期間中は粉塵等の発生に充分留意し、養生を確実にを行い作業すること。

工事概要：外壁改修に伴う換気設備の撤去・新設及び、冷暖房設備の撤去・再取付。



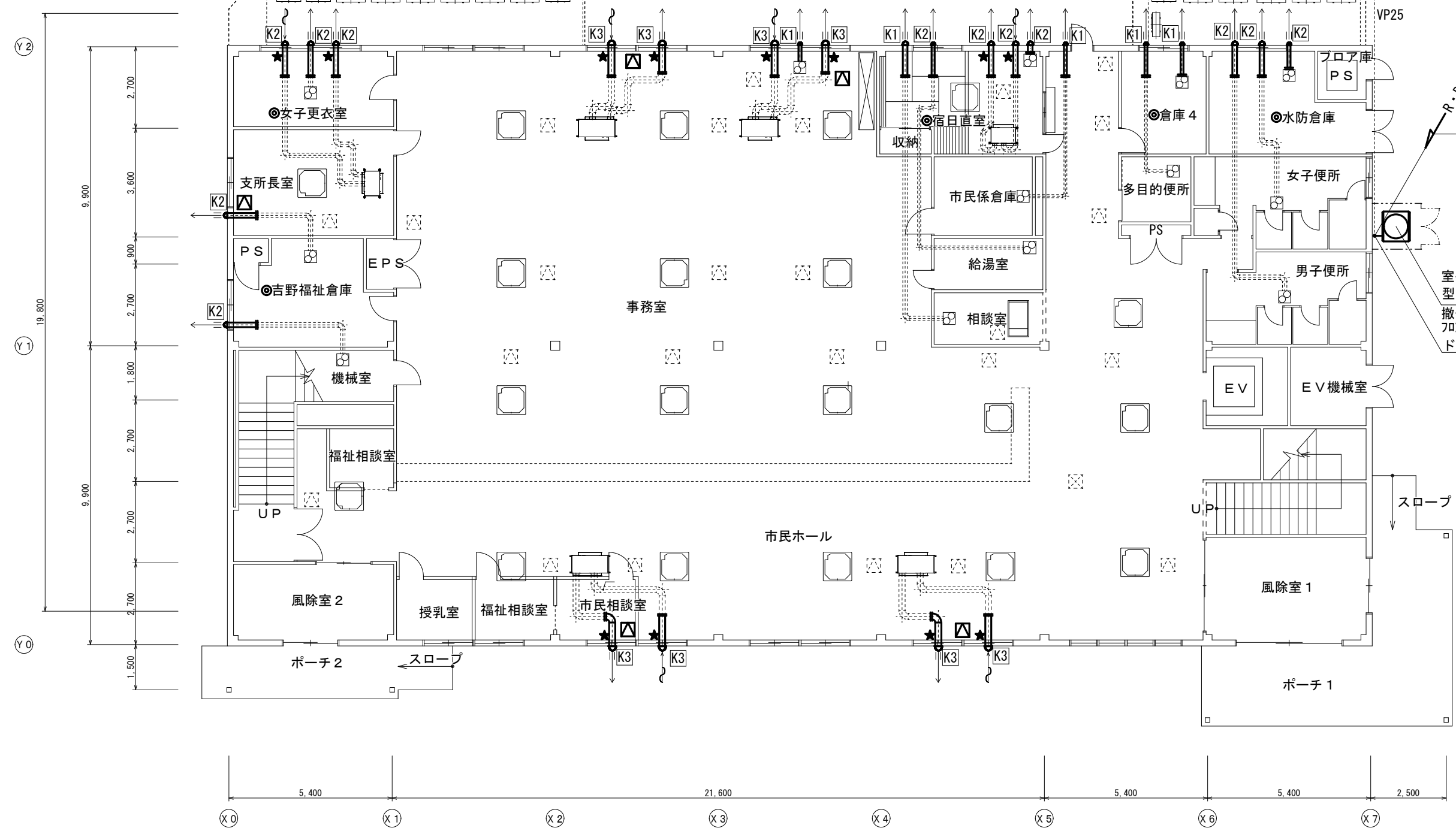
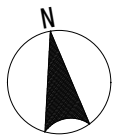
工事場所：吉野支所庁舎

付近見取図 No scale



機械設備

吉野支所庁舎外壁改修その他工事		
付近見取図・配置図	S=1/500	M—O 1
特記事項・工事概要	(A3)	
鹿児島市建設局建築部設備課		



側溝へ放流

12.7×28.6、VP25 撤去・新設
SUS120 撤去、PD120 新設
EM-EEF 2mm×4C
撤去後2階天井内に残置し、
外壁改修後室外機へ再接続とする。

室外機（冷房能力25.0kW、暖房能力28.0kW）
型式：PUZ-P280FA
撤去（建築資材置き場にて一時保管）・再取付
70R407C回収・破壊後、新規充填
ドレン管VP25切断・再接続

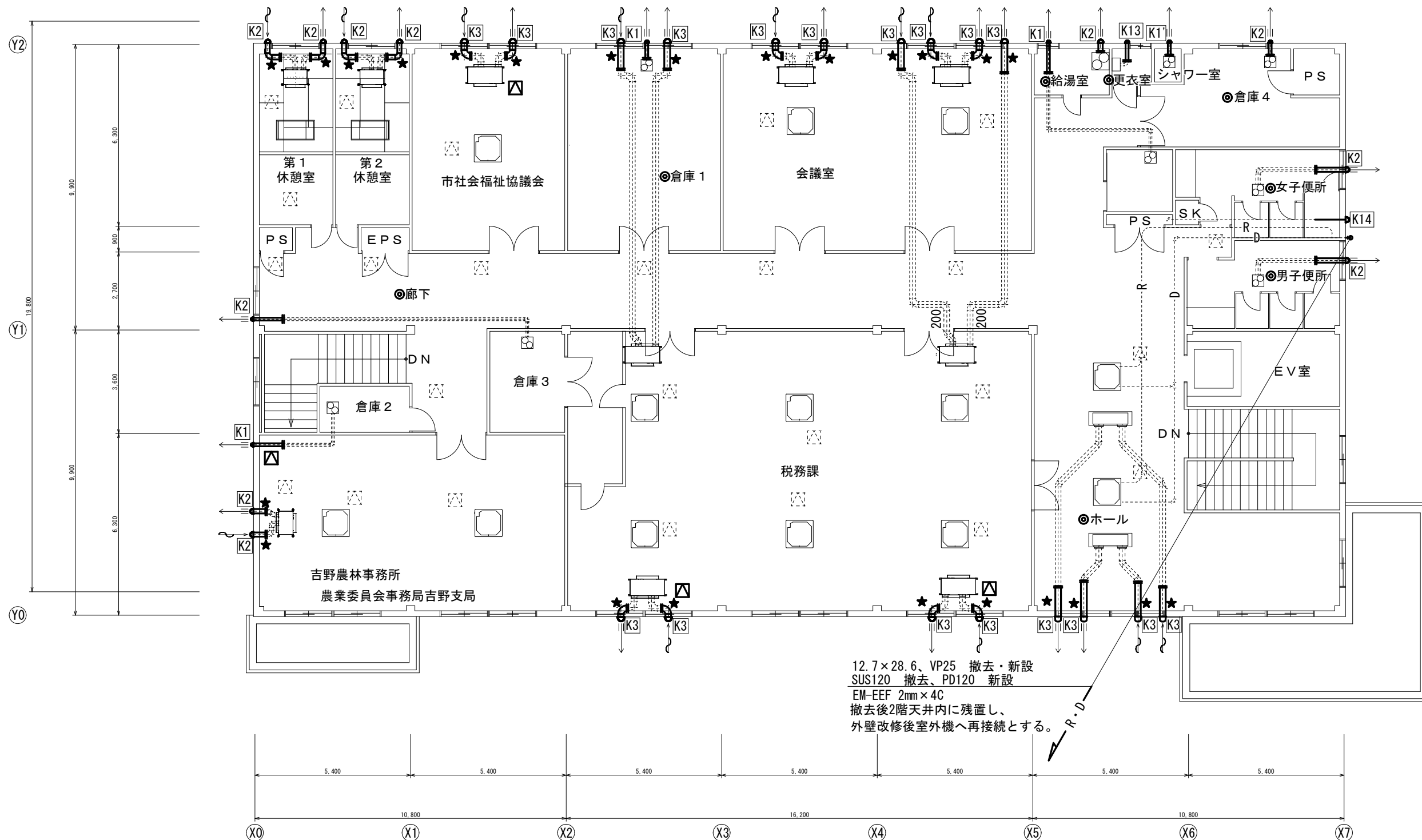
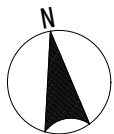
1 階平面図 S=1/150

記号	名称	仕様	接続管種	数量	備考
K1	深型パイプフット	φ100 (ガリ付)	スパイラルダクトφ100	5	撤去・新設
K2	深型パイプフット	φ150 (ガリ付)	スパイラルダクトφ150	12	撤去・新設
K3	深型パイプフット	φ200 (ガリ付)	スパイラルダクトφ200	8	撤去・新設

- ※ 図中の — は撤去・新設配管を示す。
- ※ 図中の □ は既設天井点検口 450x450を示す。
- ※ 図中の □ は新設天井点検口 450x450を示す。
- ※ 図中の ★ は保温箇所を示す。
- ※ 図中の ≡ は配管切断箇所を示す。
- ※ 図中の ⊙ が付く部屋については、天井材撤去後、再取付とする。

機械設備

吉野支所庁舎外壁改修その他工事		
空気換気設備図 (1階平面図)	S=1/150 (A3)	M－02
鹿児島市建設局建築部設備課		



2 階平面図 S=1/150

記号	名称	仕様	接続管種	数量	備考
K1	深型パイプフット	φ100 (ガリ付)	スパイラル管φ100	3	撤去・新設
K1'	深型パイプフット	φ100 (ガリ付)	VU100	1	撤去・新設
K2	深型パイプフット	φ150 (ガリ付)	スパイラル管φ150	11	撤去・新設
K3	深型パイプフット	φ200 (ガリ付)	スパイラル管φ200	18	撤去・新設
K13	給排気筒トップ	φ110	ステンレス2重管φ110	1	撤去・新設
K14	排水通気金物	φ100	VP100	1	撤去・新設

- ※ 図中の — は撤去・新設配管を示す。
- ※ 図中の □ は既設天井点検口 450x450を示す。
- ※ 図中の □ は新設天井点検口 450x450を示す。
- ※ 図中の ★ は保温箇所を示す。
- ※ 図中の || は配管切断箇所を示す。
- ※ 図中の ⊙ が付く部屋については、天井材撤去後、再取付とする。

機械設備

吉野支所庁舎外壁改修その他工事		
空調換気設備図 (2階平面図)	S=1/150 (A3)	M－O 3
鹿児島市建設局建築部設備課		